

---

## 令和 2 年度事業報告書

---

# 目 次

## I 総括・重点事業報告

1	総括			4 頁
2	重点的な取り組み			4 頁
3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策			6 頁

## II 法人運営・計画・団体事務局等

1	役員会議等	自 主	総 務 課	7 頁
2	第4期柏市地域健康福祉活動計画	自 主	企画調整室	8 頁
3	柏市住民福祉大会	自 主	総 務 課	11 頁
4	啓発活動	自 主	総 務 課	11 頁
5	社会福祉関係行事の後援等	自 主	総 務 課	12 頁
6	柏市民生委員児童委員協議会事務局	事務移管	総 務 課	13 頁
7	他機関との連携・支援〔委員・講師等〕	自 主	各 課	14 頁

## III 会費・寄附・共同募金等

1	会員会費	自 主	総 務 課	17 頁
2	寄附	自 主	総 務 課	17 頁
3	共同募金〔千葉県共同募金会柏市支会〕	事務協力	総 務 課	18 頁
4	共同募金・歳末たすけあい配分事業	自 主	総 務 課	19 頁
5	自動販売機設置経営事業	自 主	総 務 課	21 頁

## IV 地域支援・ボランティア

1	地域活動拠点事業	自主・市補助	地域福祉課	22 頁
2	地区社会福祉協議会の支援	自主・市補助	地域福祉課	26 頁
3	生活支援体制整備事業	市委託・市補助	地域福祉課	27 頁
4	ボランティア活動〔ボランティアセンター〕	自主・市補助	地域福祉課	33 頁
5	災害ボランティアセンター	自 主	地域福祉課	35 頁
6	ふれあい型給食サービス	自 主	地域福祉課	35 頁
7	総合福祉センターイベント開催事業	市委託	地域福祉課	36 頁
8	地域子育て支援拠点事業	市委託	相談支援課	36 頁
9	利用者支援事業	市委託	相談支援課	38 頁
10	こどもの居場所活動団体の支援	自 主	地域福祉課	39 頁
11	地域活動館の運営〔共同研究事業〕	自 主	企画調整室	39 頁
12	コロナ禍における地域支援の取り組み	自 主	地域福祉課	40 頁

## V 福祉教育

1	福祉教育パッケージ指定地域の支援	県社協助成	地域福祉課	45 頁
---	------------------	-------	-------	------

2	体験学習支援	自 主	地域福祉課	45 頁
3	「福祉の心」作品展	自 主	地域福祉課	46 頁
4	実習生の受入	自 主	企画調整室	47 頁

## VI 在宅福祉サービス

1	さわやかサービス	自主・市補助	地域福祉課	48 頁
2	移動サービス	自主・市補助	総 務 課	49 頁
3	かしわファミリー・サポート・センター事業	市 委 託	相談支援課	50 頁
4	車いすの貸出	自 主	相談支援課	52 頁

## VII 介護予防

1	介護予防センターにおける介護予防事業	市 委 託	地域福祉課	53 頁
2	老人福祉センターの介護予防事業等	指定管理	総 務 課	56 頁
3	沼南地域包括支援センターの介護予防事業	市 委 託	相談支援課	56 頁

## VIII 相談支援・貸付・援護金

1	福祉総合相談事業	自 主	相談支援課	57 頁
2	福祉資金貸付事業	自 主	相談支援課	59 頁
3	生活福祉資金貸付事業	県社協委託	相談支援課	59 頁
4	交通遺児援護金等支給	自主・事務協力	相談支援課	61 頁
5	緊急援護金支給事業	自 主	相談支援課	61 頁
6	若者自立支援活動団体の支援	自 主	相談支援課	62 頁
7	自殺予防対策事業 [かしわお元気コール事業]	自主・市補助	地域福祉課	62 頁
8	障害者の就労支援	自 主	総 務 課	64 頁

## IX 権利擁護・地域包括支援センター

1	成年後見事業	自主・市補助	相談支援課	65 頁
2	柏市市民後見人推進事業	市 委 託	相談支援課	68 頁
3	福祉サービス利用援助事業	県社協委託・市補助	相談支援課	68 頁
4	沼南地域包括支援センター	市 委 託	相談支援課	70 頁

## X 施設管理

1	沼南社会福祉センター設置経営事業	自主・市補助	総 務 課	75 頁
2	介護予防センターいきいきプラザ管理運営事業	市 委 託	総 務 課	75 頁
3	老人福祉センター管理運営事業	指定管理	総 務 課	76 頁

## [ 参考 ] 役員（理事・監事）・評議員・組織図

1	役員（理事・監事）名簿	78 頁
2	評議員名簿	79 頁
3	組織図	80 頁

第4期 柏市地域健康福祉活動計画  
社協アクションプラン・発展強化計画進捗状況

**I 社協アクションプラン**

<b>1</b>	地域・団体支援、ネットワークづくり	82 頁
<b>2</b>	新たなしくみや活動づくり	88 頁
<b>3</b>	人材の育成や活用、支援	93 頁
<b>4</b>	生活課題解決への取り組み	99 頁
<b>5</b>	情報発信・普及啓発	104 頁

**II 社協発展・強化計画**

<b>1</b>	拠点戦略	107 頁
<b>2</b>	人事戦略	110 頁
<b>3</b>	運営戦略	112 頁
<b>4</b>	財政戦略	115 頁

# I 総括・重点事業報告

## 1 総括

第4期柏市地域健康福祉活動計画（平成31年度から令和6年度）は2年目を迎え、国が提唱している「地域共生社会の実現」に向けて、事業計画に掲げる基本方針や重点的取り組みを中心に各種事業を展開しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行によって、人々の生活は互いに距離をとり、接触の機会を減らすことが求められ、地域住民等による福祉活動やボランティア活動、本会主催事業も休止や延期等の自粛を余儀なくされました。

その一方、人と人とのつながりや支えあい・助けあいの大切さを再認識する機会となり、様々な場面においてつながりを途切れさせない取り組みが多く生まれました。

このような状況の中、令和2年度は地域の中核的な機能をさらに果たしていくために、社会福祉法人のネットワーク化に向けた検討会の設置や7か所目となる地域いきいきセンターの開設をはじめ、事業計画に掲げる各種事業について、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を最大限に講じたうえで推進してきました。

特に、柏市が目指す「地域で支えあう体制づくりと包括的な相談支援体制」の構築については、行政や福祉の総合相談窓口、市内の相談専門機関等との連携強化を図り、常に情報を共有しながら検討を進めてきました。

令和2年度の取り組みの成果や課題を踏まえ、令和3年度においても、社会的孤立防止や地域の支えあいの推進等により、本会の役割を果たしていくための法人運営や事業展開の充実に努めていきます。

## 2 重点的な取り組み

### (1) 新たな取り組み

#### ① 沼南地域包括支援センターランチ窓口の開設

高柳駅前「ヤオコー柏高柳駅前店」3階に相談窓口を令和2年6月に開設し、複数窓口での相談対応と地域住民の利便性の向上、更には風早南部地域いきいきセンターとの連携による本会の強みを活かした相談支援体制の充実に努めました。

[70頁／沼南地域包括支援センター]

#### ② 「地域活動館」の運営

東京大学より運営を承継し、本会が主体となり事業展開を行いました。新型コロナウイルス感染防止のガイドラインを作成し、十分な対策を講じたうえでの運営を行いました。来年度以降は本会の使命や役割を踏まえ、利用団体等への貸館だけでなく、地域共生社会の実現に向けて、多様な機能を持つ場への転換を視野

に関係団体等と検討を進めていきます。

[39 頁／地域活動館の運営（共同研究事業）]

## (2) 充実・強化

### ① 地域いきいきセンターの設置

7 か所目となる南部地域いきいきセンターを開設し、相談支援体制や地域づくりの取り組みの拡充を進めました。さらに令和3年度8 か所目の新規開設を目指し、整備に向けた地域や関係機関との調整を進めました。

[22 頁／地域活動拠点事業]

### ② 地域共生社会の実現に向けた更なる連携

地域共生社会の実現に向けて、行政関係課との定期的な連携会議の開催や包括的な相談支援体制の構築を目指し検討を進めました。

特に10月に開催された「関係機関顔合わせ会」では、柏市が目指す方向性を共有し、各相談専門機関の連携強化を図りました。

[8 頁／第4期柏市地域健康福祉活動計画]

### ③ 災害時の支援体制の強化と新たなネットワークの構築

定期的な検討会議によって災害対策本部の機能強化を目指し、感染症対策や事業継続計画を盛り込んだ対応マニュアルの見直しと担当別行動マニュアルの作成を行いました。

また、新たに柏青年会議所と「災害時における相互支援に関する協定」を締結し平時からの連携体制を強化していくとともに、さらに関係機関等とのパートナーシップの構築を進めていきます。

[35 頁／災害ボランティアセンター、10 頁／第4期柏市地域健康福祉活動計画]

### ④ 若者自立支援活動団体との連携支援

引きこもりの若者や家族支援等に取り組む団体間のネットワーク化のため、活動団体と民生委員、スクールソーシャルワーカーの連携の場をつくりました。

[62 頁／若者自立支援活動団体の支援]

### ⑤ SNSを活用した魅力発信

社協の取り組みや事業をこれまでのホームページや情報紙「紙ひこうき」等の媒体に加え、デジタルサイネージ等による情報発信とSNSの検討を行いました。

[11 頁／啓発活動、19 頁／共同募金（千葉県共同募金会柏市支会）]

## (3) 調査・研究

### ① 法人運営のあり方と役割の明確化

法人の執行機関と議決機関の位置づけや役割・機能を整理し、組織管理体制や内部統制の強化を目指すため、選出区分や定数、議論の活性化を目的とした会議のあり方について、他市の状況等を調査のうえ検討しました。

[7 頁／役員会議等]

### ② 市内社会福祉法人のネットワークの構築

市内の社会福祉法人が、その使命と存在意義を十分に発揮し、連携・協働に

よって地域課題等の解決を目指す体制の構築を目指し、分野を超えた 8 法人による検討会を立ち上げ、全 4 回にわたり意見交換を行いました。

令和 3 年度はさらに具体化を進め、地域社会から必要とされる事業展開（公益活動）や組織体制を検討していきます。

[10 頁／第 4 期柏市地域健康福祉活動計画]

③ 成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関の受託に向けた検討・準備

成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関の設置に向け、毎月柏市地域包括支援課、障害福祉課と意見交換を行い、令和 3 年度から受託することとなりました（令和 3 年 6 月開設予定）。

[67 頁／成年後見事業]

④ 後見支援員と連携したアウトリーチ型の成年後見・意思決定支援の普及啓発

後見支援員との連携、地域いきいきセンターを活用した成年後見制度や「わたしの望みノート」の普及啓発、利用促進を目的とした、終活応援ルーム「望」を令和 2 年 8 月より南部地域いきいきセンターに開設しました。

[67 頁／成年後見事業]

⑤ 一時預かり事業（預かり保育）の検討

市担当課と協議を行い、利用者のニーズも踏まえ令和 3 年度からぞうさんルーム（ファミリー・サポート・センター一時預かり）の預かり時間に、一部 6 時間の枠（通常 3 時間）を設けることとしました。また、一時預かりは、引き続き日数や時間拡大等の方向で展開していきます。

[51 頁／かしわファミリー・サポート・センター]

⑥ 非営利活動団体登録制度と団体助成金の見直し

地域課題の解決に向けた取り組みへの重点的な助成や各非営利活動団体に対する助成内容等の課題整理を行いました。

[19 頁／共同募金・歳末たすけあい配分事業]

⑦ 先進地等提案型視察研修から見た業務上の課題解決の取り組み

令和元年度に実施した本会職員による提案型の先進地視察研修による成果を踏まえ、成年後見等の参考としました。

[65 頁／成年後見事業]

### 3 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面会議を取り入れたほか、事業はオンラインの活用を進めました。

また、市民の方々に、安心して窓口を利用いただけるよう飛沫防止パネルや検温機、次亜塩素酸水噴霧器の設置、消毒の徹底等を行いました。

## Ⅱ 法人運営・計画・団体事務局等

### 1 役員会議等

自 主

総 務 課

#### (1) 正副会長会議の開催状況

期 日	主な内容
R3. 1. 12	[第1回] 諸規程の一部改正、令和2年度補正予算、評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集、評議員会の招集、職務執行状況報告、理事・評議員等の定数見直し等
R3. 3. 9	[第2回] 定款の変更、諸規程の一部改正、令和3年度事業計画・予算、役員等賠償責任保険契約の締結、不納欠損処分、評議員会の招集等

#### (2) 理事会の開催状況

期 日	主な内容
R2. 6. 4 (書面決議)	[第1回] 令和元年度事業報告・決算、令和2年度補正予算、諸規程の一部改正、評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集、定時評議員会の招集、理事の選任等
R3. 1. 21 (書面決議)	[第2回] 令和2年度補正予算、諸規程の一部改正、評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集等
3. 18 (書面決議)	[第3回] 定款の変更、諸規程の一部改正、令和3年度事業計画・予算、役員等賠償責任保険契約の締結、不納欠損処分、評議員会の招集等

#### (3) 評議員会の開催状況

期 日	主な内容
R2. 6. 22 (書面決議)	[定 時] 令和元年度事業報告・決算、令和2年度補正予算、諸規程の一部改正、理事の選任等
R3. 1. 29 (書面決議)	[第2回] 令和2年度補正予算、諸規程の一部改正等
3. 25 (書面決議)	[第3回] 定款の変更、諸規程の一部改正、令和3年度事業計画・予算等

#### (4) 監査の実施状況

期 日	主な内容
R2. 5. 7	[顧問会計士監査] 令和元年度会計監査（～R2. 5. 11）
7. 20	[包括外部監査] 法人運営監査、財務会計監査等（～R3. 3. 31）
5. 27	[監 事 監 査] 令和元年度事業報告・決算、財産目録及び



	貸借対照表等の財務諸表・附属明細書等
11. 11	[顧問会計士監査] 令和2年度中間会計監査（～R2. 11. 13）

#### (5) 評議員選任・解任委員会の開催状況

期 日	主な内容
R2. 6. 12	評議員3名の解任及び選任
R3. 1. 22	評議員2名の解任及び選任

#### (6) 部会（理事）の開催状況

期 日	主な内容
R2. 11. 25	[企画・財政部会] 老人福祉センター管理経営事業、教育福祉会館耐震工事後のボランティアセンター、成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関の受託に向けた準備、個人向け緊急小口貸付等の特例貸付、理事会・評議員会の活性化と機能強化等
11. 26	[地域・生活部会] 老人福祉センター管理経営事業、教育福祉会館耐震工事後のボランティアセンター、成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関の受託に向けた準備、個人向け緊急小口貸付等の特例貸付、理事会・評議員会の活性化と機能強化等

#### (7) 福祉サービス調整委員及び情報公開審査会委員合同会議

期 日	主な内容
R3. 2. 24	文書等公開請求及び苦情等の報告、その他

<b>2</b>	<b>第4期柏市地域健康福祉活動計画</b>	自 主	企画調整室
----------	------------------------	-----	-------

#### (1) 計画全体

計画2年目は、活動計画の推進と社協アクションプラン・発展強化計画の推進に取り組みました。初年度の成果と課題を踏まえ、2年目の実施計画を策定し、主管者による年2回のヒアリングと隔月のグループリーダー会議において進捗管理を実施し、組織全体で推進を図りました。

また、柏市地域支えあい推進協議会では、計画に係るテーマを設定し、委員から推進についての意見をいただきました。

期 日	柏市地域支えあい推進協議会のテーマ
[中 止] R2. 5. 29	・新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い中止
[第1回] 10. 30	・分野を超えた社会福祉法人のネットワークづくり ・柏市における包括的な相談支援体制の構築について

## (2) 地区別計画

コロナ禍においても、各地区社会福祉協議会を中心に、参加人数やテーマを工夫しながら、目標の達成に向けた懇談会及び実践が展開されました。



柏の葉地域

## (3) 社協アクションプラン・発展強化計画

### ① 進捗管理

会議名	期 日	主な内容
主管者会議	毎月第2火曜日	重要案件等の協議、組織方針の意思決定
局長課長会議	毎月第1火曜日	事業の進捗確認、課題等の調整、協議
課内会議等	各課・担当毎	主管者会議、局長課長会議の伝達、業務進捗管理や調整
グループリーダー会議	隔 月 開 催	計画進捗確認、計画推進課題等の協議

### ② アクションプラン

[ニーズに応じた人材の育成と確保、活動支援(さわやかサービス協力会員)]

- ▶ 産前産後支援のニーズに対応するため、ニーズが高い北部エリアにおいて学校保護者に対する啓発を行い、協力会員の確保につながりました。  
また、社協事業やサービスを越えた人材確保については、グループリーダー会議で議論を重ね、次年度の実施に向けて調整を行っていきます。

[新たな子ども・子育て支援(預かり事業)の実施]

- ▶ 利用者からのニーズに応えるため、10月からぞうさんルームの開催を毎週金曜日と第1火曜日の開催に加えて、第3火曜日も開催し受け入れ態勢を拡大しました。次年度以降は預かり時間の拡大(6時間)によって更なる拡大を検討していきます。

[移動困難者への支援]

- ▶ 利用者に対する公平で均一なサービス提供を実施するため、事務所から遠方の利用者に対する利用時間等の見直しに向けて、具体的な検討を進めました。また、災害時を想定し、移動サービス所属職員以外の職員が対応できるように、福祉有償運送運転者講習会の受講を推進しました。

### ③ 発展・強化

[人事採用計画に基づく職員定数の適正化と計画的な職員採用]

- ▶ 将来的な組織や人員体制を踏まえ、事業を推進するうえでの適正な職員定数や人事採用計画の見直しに向けて、市保健福祉部及び担当課と協議・検討を行いました。

[役員・評議員の機能強化]

- ▶ 選出区分や定数等について、他市の状況等を踏まえ、理事部会で検討しました。そこで出された意見に基づき、今後の方向性(案)を作成し、役員

及び評議員に対し調査を行いました。定款及び規程の改正を実施し、次年度の一斉改選に向けて、さらに調整を図っていきます。

#### [災害時の体制整備]

- ▶ はぐはぐひろば沼南では、利用者参加の避難訓練を実施しました。  
また、はぐはぐひろばから直接避難ができる通路を確保するため、新たに避難用外階段を設置しました。さらに転落防止柵の設置を次年度に進めていきます。
- ▶ 令和3年3月18日に柏青年会議所と「災害時における相互支援協定」を締結しました。今後は、平時からの連携体制を強化していくとともに、さらに関係機関等とのパートナーシップの構築を進めていきます。



調印式



中川会長（左）と島田理事長（右）

#### [社会福祉法人等との連携強化]

- ▶ 市内の社会福祉法人が、その使命と存在意義を十分に発揮し、連携・協働によって地域課題等の解決を目指す体制の構築を目指し、分野を超えた8法人による検討会を立ち上げ、全4回にわたり意見交換を行いました。

期 日	主な内容
R2. 9. 28	趣旨説明と方向性の共有、各法人の地域公益活動、意見交換
11. 16	法人で抱える課題と感じている地域課題、課題解決に向けた連携事業のアイデア
R3. 1. 18	〔書面〕具体的な事業展開に向けて、組織体制・財源について、市内全法人に向けたアプローチ
3. 22	第3会検討会（書面）の共有について、令和3年度の進め方について

また、例年開催している市内社会福祉法人懇親会については、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止とし、市内の全法人に対してネットワークの構築に向けた検討会の報告書を送付しました。

3	柏市住民福祉大会	自 主	総 務 課
---	----------	-----	-------

期 日	主な内容						
R2. 10. 26	表彰者選考会議						
12. 12 (中止)	<p>第 47 回柏市住民福祉大会／アミュゼ柏クリスタルホールで開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により式典は中止とし、情報紙「紙ひこうき」にて顕彰者の紹介をいたしました。</p> <p>社会福祉功労者の顕彰（個人・団体）</p> <table> <tr> <td>柏社協会長表彰状</td><td>131 名</td></tr> <tr> <td>柏社協会長感謝状</td><td>9 名</td></tr> <tr> <td>福祉の心作品展入賞者</td><td>5 名</td></tr> </table>	柏社協会長表彰状	131 名	柏社協会長感謝状	9 名	福祉の心作品展入賞者	5 名
柏社協会長表彰状	131 名						
柏社協会長感謝状	9 名						
福祉の心作品展入賞者	5 名						

4	啓発活動	自 主	総 務 課
---	------	-----	-------

#### (1) 地域福祉の情報紙「紙ひこうき」

行政連絡物として全戸に回覧し、また会員に対して送付するなど、地域福祉の情報提供及び広報活動に努めました。[8 ページ構成、発行部数 約 18,000 部／回]



令和 3 年 1 月発行号

期 日	主な内容（特集）
R2. 5. 1	[176 号] 沼南地域包括支援センター～高齢者が楽しく安心して暮らせる地域を目指して！～
9. 1	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い休刊
R3. 1. 15	[177 号] 第 4 7 回柏市住民福祉大会表彰者報告ほか

#### (2) 社協ガイド

組織・事業の理解を広めるため、令和 2 年版ガイドを発行しました。

#### (3) ホームページ

事業の対外的な発信や伝達、利便性の向上を目的に最新情報の公開に努めました。

#### (4) 地域福祉啓発カレンダー

特別会員の紹介や地域福祉の推進を目的に、柏市社会福祉協議会カレンダーを作

製しました。特別会員をはじめ、町会等及び近隣センター等の関係諸機関へ配付し、啓発を行いました。



特別会員を掲載したカレンダーの一面



社協の事業をPR

## (5) 老人の日・老人週間／児童福祉月間

「敬老の日」や「こどもの日」に因み、ポスターを老人福祉センター、いきいきプラザ、沼南社会福祉センター、ボランティアセンターに掲示し、啓発を行いました。

## 5 社会福祉関係行事の後援等

自主

総務課

### ▶ 当年度申請受理分〔後援 15 件〕

	後援等申請団体	内 容
1	エンジョイ紙すきと絵手紙の会	エンジョイ紙すきと絵手紙の会の展示
2	全国大陶器市振興組合	チャリティー全国大陶器市
3	NPO 法人鳳	終活セミナー〔終活の始まり〕
4	公益財団法人モラロジー研究所地域活動支援室	令和2年度・中高年健康づくり運動教室
5	NPO 法人フリーマーケット推進ネットワーク	柏の葉公園フリーマーケット
6	柏市生涯現役促進協議会	生涯現役オンラインセミナー
7	エコロジーネットワーク・ラズベリー	かしわ油田 柏の葉フリーマーケット
8	公益社団法人S L災害ボランティアネットワーク柏（中止）	感染症予防ガウン製作
9	NPO 法人ホスピスケアを広める会	より良いホスピスケアを目指して
10	特定非営利活動法人おいじたくあんしんねっと（中止）	令和2年度柏市民セミナー「遺言書の作成と生前贈与」
11	柏市立柏高等学校（中止）	第38回チャリティーコンサート



12	特定非営利活動法人おいじたくあんしんねっと（中止）	令和2年度柏市民セミナー「遺言書の作成と生前贈与」
13	認定 NPO 法人東葛市民後見人の会 柏支部	市民後見人養成講座（基礎編）
14	はぐはぐ☆子育て応援フォーラム 実行委員会（中止）	はぐはぐ☆子育て応援フォーラム 柏 2021
15	CAP なのはな（中止）	「子どもを性教育から守る～私たちおとながすべきこと～」

<b>6</b>	<b>柏市民生委員児童委員協議会事務局</b>	<b>事務移管</b>	<b>総務課</b>
----------	-------------------------	-------------	------------

地域福祉を推進するため、柏市民生委員児童委員協議会事務局を担当しました。

項 目	内 容（回数、人数等）
単位民生委員児童委員協議会	22 地区
定 数	577 名[R1. 12. 1 現在定数]
訪 問 回 数	74,052 回／年[累計]
活 動 日 数	64,097 日／年[累計]
主な会議等 ※ その他、福祉部会等の研修会 適宜開催 ※新型コロナウイルス感染拡大 防止により中止あり	三役会（第3火曜） 年 9 回 単位民児協会長会議（第4火曜） 年 10 回 主任児童委員連絡会 ※オンライン等を活用し会議や研修を実施

各種関係団体に協力

[柏 市]

健康福祉審議会（民生委員審査専門分科会、高齢者健康福祉専門分科会、地域健康福祉専門分科会、市立病院事業検討専門分科会）、保健衛生審議会運営部会、民生委員推薦会、高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会、柏市地域包括支援センター運営協議会、千葉県薬物乱用防止指導員、少年補導センター運営協議会、国民健康保険事業会議、自殺予防対策連絡会議、要保護児童対策地域協議会代表者会議、子どもネットワーク会議、思春期保健関係者会議、ノースモッ子作戦協議会、高齢者安全安心推進会議、柏市社会教育委員、柏市空家等対策協議会委員、振り込め詐欺等対策本部会議など

[柏市社会福祉協議会]

理事会、評議員会、共同募金配分委員会、かしわ福祉権利擁護センター運営委員会、福祉サービス調整委員、心配ごと相談事業、情報公開審査会委員、柏市地域支えあい推進協議会委員など

[その他]

柏市民健康づくり推進員永年功労者感謝状贈呈式、柏市老人クラブ連合会総会、社会を明るくする運動、赤い羽根共同募金運動、あいネット運営委員など

市及び関係機関との連携・支援として、役職員による会議の委員等協力、講師派遣を行いました。また、各種表彰及び民間助成応募に係る推薦も行いました。

### (1) 他機関設置会議の委員等協力

#### ① 理事・評議員（設置主体の名称は、令和2年度のもの）

会 議 名	設置主体
柏市健康福祉審議会 障害者健康福祉専門分科会 地域健康福祉専門分科会 児童健康福祉専門分科会	柏市障害福祉課 柏市福祉政策課 〃
柏市民生委員推薦会	柏市福祉政策課
柏市在宅医療・介護多職種連携会議	柏市福祉政策課
豊四季台地域高齢社会総合研究会	柏市福祉政策課
柏市廃棄物処理清掃審議会	柏市廃棄物政策課
柏市要保護児童対策地域協議会 代表者会議	柏市こども福祉課
柏市介護保険施設等事業者選定委員会	柏市高齢者支援課
社会を明るくする運動柏市推薦委員会	柏市福祉政策課
柏市交通政策審議会	柏市交通政策課
柏市空き家等対策協議会	柏市住宅政策課
千葉県社会福祉協議会評議員	千葉県社会福祉協議会
千葉縣市町村社会福祉協議会会長会議	千葉県社会福祉協議会
千葉県共同募金会理事会	千葉県共同募金会
東葛飾地区社会福祉協議会連絡会	柏市社会福祉協議会

#### ② 管理職（設置主体の名称は、令和2年度のもの）

会 議 名	設置主体
柏市健康福祉審議会 障害者健康福祉専門分科会 高齢者専門分科会 地域健康福祉専門分科会	柏市障害福祉課 柏市高齢者支援課 柏市社会福祉課
柏市自殺予防対策連絡会議委員	柏市福祉政策課
柏市保健所精神保健福祉連絡協議会	柏市保健所保健予防課
柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 構築推進会議（代表者会議）	柏市保健予防課
柏市高齢者権利擁護ネットワーク運営委員会	柏市地域包括支援課
柏市教育福祉会館（総合相談・就労支援部会、多世代 交流・子育て支援部会、企画・広報部会）	柏市福祉政策課 柏市中央公民館
柏市障がい者スポーツ推進連絡会	柏市スポーツ課
柏市教育振興計画策定有識者懇談会	柏市教育総務課
柏市生涯学習推進協議会	柏市生涯学習課
柏市災害医療検討会	柏市防災安全課

千葉県市町村社会福祉協議会局長会議	千葉県社会福祉協議会
千葉県社会福祉協議会政策調整委員会	千葉県社会福祉協議会
C S W 育成研修評価会議	千葉県社会福祉協議会
千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業運営委員会	千葉県社会福祉協議会
千葉県福祉人材確保・定着東葛飾地域推進協議会	千葉県健康福祉指導課
千葉県共同募金会支会・分会事務局長会議	千葉県共同募金会
地域福祉推進委員会（常任委員会）	全国社会福祉協議会
東葛飾地区社会福祉協議会連絡会	柏市社会福祉協議会

③ 職員（設置主体の名称は、令和元年度のもの）

会 議 名	設置主体
柏市在宅医療・介護多職種連携協議会 研修部会	柏市福祉政策課
啓発・広報部会	〃
柏市地域包括支援センター 運営協議会	柏市地域包括支援課
センター長会議	〃
社会福祉士連絡会	〃
主任ケアマネ連携会議	〃
医療職連携会議	〃
認知症地域支援推進員会議	〃
主任介護支援専門員連絡会	〃
柏市高齢者権利擁護ネットワーク運営会議	柏市地域包括支援課
認知症にやさしいまちづくり会議	柏市地域包括支援課
おいじたくあんしんネット報告会	柏市高齢者支援課
柏市障害者権利擁護ネットワーク会議	柏市障害福祉課
柏市障害者差別解消支援地域協議会	柏市障害福祉課
柏市要保護児童対策地域協議会 実務担当者会議	柏市こども福祉課
南部みんなの広場運営委員会	柏市子育て支援課 児童センター
振り込め詐欺等対策会議	柏市防災安全課
柏市乳幼児保健懇話会	柏市教育研究所
柏市フレイル予防プロジェクト 2025 推進委員会	柏市・東大 IOG
地域包括ケアワーキンググループ	柏市・東大 IOG
柏市生涯現役促進協議会	柏市・東大 IOG
柏市地域生活支援センターあいネット運営委員会	柏市地域生活支援センターあいネット
柏市地域生活支援センター支援調整会議	柏市地域生活支援センターあいネット
柏市介護支援専門員協議会総会	柏市介護支援専門員協議会
柏市非営利団体連絡会	タイムストック柏の会
松戸地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク松戸
千葉社協職員連絡協議会 会長 代議員	千葉県社会福祉協議会 〃
千葉県助け合い協議会	千葉県社会福祉協議会
CSW 育成研修評価会議	千葉県社会福祉協議会



郡市民児協事務局担当国会議	千葉県民生委員児童委員協議会
千葉県民生委員児童委員協議会事業委員会	千葉県民生委員児童委員協議会
千葉県共同募金会支会・分会担当国会議	千葉県共同募金会

## (2) 他市視察受入

視察の受入はありませんでした。

## (3) 職員の講師派遣 [全 7 回]

地域の教育機関や各団体等へ地域福祉等の講師として職員の派遣を行いました。

	期 日	依頼者	主な内容
1	R2. 9. 8	富勢地区民児協	貸付制度
2	9. 8	風早南部手賀地区民児協	貸付制度
3	10.10 (中止)	パレット柏「子育てフォーラム」	育児相談(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
4	R3. 1. 22	千葉県社会福祉協議会	生活支援コーディネーター養成研修
5	2. 15	ボランティアセンター	親子スペースサポートボランティア養成講座
6	2. 28	はぐはぐ子育て応援フォーラム実行委員会	はぐはぐフォーラム ZOOM 座談会
7	3. 15	株式会社ヤマハミュージックジャパン	ヤマハおとまち WEB カンファレンス 第 1 回「社会福祉と音楽」 ～地域に根差したコミュニティ支援～

※「わたしの望みノート」や沼南地域包括支援センターからの講師派遣は、各々のページに実施状況を掲載

### Ⅲ 会費・寄附・共同募金等

#### 1 会員会費

自主

総務課

町会・自治会・区・管理組合の住民団体、企業、福祉団体、個人から、重要な財源である社協会費の協力を得ました。

種 類	H30	R1	R2
住民団体会員	[283 町会等] 34,446,988 円	[277 町会等] 33,656,876 円	[279 町会等] 33,610,029 円
特別会員	[166 法人等] 1,715,000 円	[151 法人等] 1,570,000 円	[150 法人等] 1,540,000 円
賛助会員 (団 体)	[39 団体] 270,000 円	[43 団体] 290,000 円	[44 団体] 305,000 円
賛助会員 (個 人)	[759 名] 1,139,000 円	[564 名] 949,000 円	[663 名] 1,114,000 円
計	37,570,988 円	36,465,876 円	36,569,029 円

#### 2 寄 附

自主

総務課

善意の寄附金等が多く寄せられました。寄附金は、生活困窮者や子ども食堂への助成等に活用しました。また、物品預託は、福祉施設等へ寄贈しました。

##### (1) 寄附金

種 類	H30	R1	R2
一 般 寄 附	[165 件] 5,016,489 円	[144 件] 3,339,034 円	[96 件] 3,581,023 円
災 害 対 策 基 金	[ 1 件] 5,000 円	[ 0 件] 0 円	[ 0 件] 0 円
セーフティーネット基金	[ 7 件] 88,500 円	[ 12 件] 60,000 円	[ 14 件] 180,000 円
柏こども未来基金	[ 25 件] 1,222,956 円	[37 件] 437,666 円	[ 25 件] 775,000 円
支えあい推進基金	—	[ 0 件] 0 円	[ 0 件] 0 円
計	6,332,945 円	3,836,700 円	4,536,023 円

※令和2年度寄附総件数 135 件中、12 件は重複

## (2) 物品預託

種 類	H30	R1	R2
衣 料 品 [新品洋服等、寝具類等]	2 件	1 件	7 件
家 庭 用 品 [雑巾、タオル、石鹸等日用品]	4 件	5 件	7 件
介 護 用 品 [車いす、紙オムツ等]	12 件	10 件	6 件
ベビー用品 [ベビーカー、チャイルドシート等]	1 件	—	7 件
食 料 品 [キウイフルーツ、梨、お菓子等]	15 件	17 件	9 件
学 用 品 [ノート、えんぴつ、消しゴム等]	3 件	2 件	—
そ の 他 [観戦チケット、切手、防災ラジオ等]	6 件	4 件	7 件
計	43 件	39 件	43 件

## 3

### 共同募金【千葉県共同募金会柏市支会】

事務協力

総 務 課

## (1) 募金方法別の募金額

### ▶ 赤い羽根募金

赤い羽根募金	H30	R1	R2
戸 別	18,959,174 円	18,503,030 円	18,004,242 円
法 人	560,000 円	592,010 円	503,639 円
学 校	801,371 円	657,852 円	846,753 円
職 域	168,875 円	131,203 円	152,832 円
その他	497,434 円	470,134 円	532,395 円
計	20,986,854 円	20,354,229 円	20,039,861 円

### ▶ 歳末たすけあい募金

歳末募金	H30	R1	R2
戸 別	10,479,496 円	10,253,219 円	9,861,133 円
法 人	334,000 円	303,859 円	390,500 円
その他	25,000 円	5,000 円	9,000 円
計	10,838,496 円	10,562,078 円	10,260,633 円

## (2) 募金協力依頼

住民団体をはじめ幅広い市民の協力のもと募金活動を実施しました。

また、店舗等に募金箱、しおりの設置及びポスターの掲示、デジタルサイネージ（電子看板）による広報を行いました。

区 分	町会・自治会等	法 人	学 校	募金箱・ポスターの設置
依頼数	298 件	222 件	89 件	公共施設 34 ケ所 店舗等 46 ケ所 (しおり) 5 ケ所



高島屋ステーションモール様と  
コラボの募金箱とポスター掲示



柏レイソル選手を起用した  
デジタルサイネージとポスター

### (3) 主な募金・啓発活動

街頭募金活動	荒天により中止
募金啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新たに7か所の店舗等へ募金箱・ポスターを設置し、来街者からの寄付を募りました。</li> <li>▶ 柏レイソル選手が語りかける啓発動画を市内高校生と協力して制作し、店舗・公共施設で放映しました。</li> </ul>

## 4 共同募金・歳末たすけあい配分事業

自主

総務課

### (1) 配分委員会の開催

期 日	主な内容
R2. 7. 22	[第1回] 歳末援護金の対象世帯及びランドセル配付対象世帯の調査依頼について等
11. 10	[第2回] 歳末援護金配分、福祉活動団体等助成金について等
R3. 2. 9	[第3回] 生活困窮世帯援護金配分結果報告、ランドセル配付結果報告、福祉活動団体等助成の検討および地域課題解決活動プレゼンテーション等
3. 3	[第4回] 地域課題解決活動助成団体の選考および決定、団体助成等の見直しについて状況報告等

### (2) 共同募金の配分

#### ① 配分金額

一般募金配分金	14,248,000 円
歳末たすけあい配分金	9,956,500 円
計	24,204,500 円

## ② 事業配分

活動区分	主な事業
高 齢 者 福 祉	地域活動館運営、ふれあい型給食サービス活動、わたしの望みノート等
障 害 者 福 祉	当事者団体支援、ドラムサークル等
児童・青少年福祉	こども・若者支援、「福祉の心」作品展等
母 子 父 子 福 祉	はぐはぐひろば沼南の充実、子育て支援等
ボ ラ ン テ ィ ア	ボランティアセンター運営、災害備蓄等
福祉育成・援助	心配ごと相談事業、地区社協支援等

## ③ 団体助成配分

助成種類	助成数	内 訳
当事者・福祉団体	22 団体	高齢者福祉、障害児者福祉、児童福祉団体等
ボランティア団体	80 団体	スタートアップ助成 2 団体 地域貢献活動助成 80 団体 ステップアップ助成 6 団体
地域課題解決活動	4 団体	[布施新町いきいきネットワーク] ▶三世代住民が進める超高齢化地域の新しいまちづくり [NPO 法人 キャリアデザイン研究所] ▶ひきこもりの問題で悩み、孤立する家族が地域とつながるための支援 [CAP なのはな] ▶性暴力予防のための啓発活動 [HCA クラブ] ▶地域高齢者の健康維持・増進のため運動の習慣化を図る
柏市民生委員児童委員協議会	1 団体	事務局運営の一部
地区社会福祉協議会	23 団体	基本事業費の一部

## (3) ランドセルの配付

寄附としてお預かりしたランドセルを、歳末たすけあい募金の援護金とともに、右記の機関を通じて生活困窮世帯へ配付しました。

配 付 先	配付個数
柏 市 民 児 協	6 個
柏市生活支援課等	21 個
柏 児 童 相 談 所	2 個

自主財源確保のため、市協力のもと、自動販売機設置経営事業を実施しました。

設置場所	H30	R1	R2
沼南社会福祉センター	3 台	3 台	3 台
老人福祉センター柏寿荘	1 台	1 台	1 台
南部老人福祉センター	2 台	2 台	2 台
沼南老人福祉センター	1 台	1 台	1 台
計	7 台	7 台	7 台
手 数 料 収 入 合 計	437,009 円	409,996 円	188,486 円

## IV 地域支援・ボランティア

1

### 地域活動拠点事業

自主・市補助

地域福祉課

身近な場での相談及び地域活動支援を目的として、令和2年5月に南部地域いきいきセンターを新規開設し、計7つのコミュニティエリア（風早南部、松葉町、光ヶ丘、豊四季台、富勢、田中、南部）に拠点が広がりました。各いきいきセンターでは、週3回の窓口運営を中心に、福祉相談、ボランティア育成、地域づくり等を実施しました。

#### (1) 風早南部地域いきいきセンター [H21. 4. 1 開設]

項 目	H30	R1	R2
開 設 日 数	143 日	144 日	147 日
利 用 件 数	1,378 件	1,383 件	906 件
[手段] 電 話	483 件	492 件	419 件
来 所	665 件	578 件	357 件
訪 問	193 件	262 件	110 件
メ ー ル	37 件	51 件	20 件
[目的] 相 談	151 件	218 件	163 件
地域関係	961 件	821 件	540 件
事業関係	255 件	324 件	160 件
そ の 他	11 件	20 件	43 件

#### 主 な 事 業

地 域 活 動 支 援	地区社協との連携（定例役員会・見守り活動会議・委員研修）、多世代交流型コミュニティ実行委員会（たまご教室定例会出席・茶論支援）、ふる協との連携（印刷機関係の相談調整等）、民児協との連携、地域支えあい推進員との連携（支えあい会議、たすけあい活動運営支援及び通いの場運営支援等）
ボランティア育成等講座	「顔を合わせようの会」（通いの場、介護予防センターほのぼのプラザと共催）
その他（広報等）	かしわお元気コール実施 [別記 62 頁]、沼南地域包括支援センター等との連携（スタッフ会議出席、個別ケース対応協力）中央公民館との連携（歴史・文化（カルタ）会議出席）

#### (2) 松葉町地域いきいきセンター [H22. 11. 1 開設]

項 目	H30	R1	R2
開 設 日 数	123 日	141 日	146 日

利 用 件 数	1,130 件	972 件	984 件
[手段] 電 話	284 件	245 件	375 件
来 所	519 件	496 件	412 件
訪 問	318 件	219 件	132 件
メ ー ル	9 件	12 件	65 件
[目的] 相 談	152 件	102 件	151 件
地域関係	687 件	557 件	436 件
事業関係	248 件	268 件	348 件
そ の 他	43 件	45 件	49 件

主 な 事 業

地 域 活 動 支 援	ふる協(地区社協)・民児協との連携(サロン、相談会、定例会議等)、ふる協(地区社協)・民児協・包括等の連携による支えあいの推進(たすけあい団体の活動支援、支えあい会議の開催、町会・自治会・管理組合の役員会訪問等)、町会単位の支えあい活動立ち上げ支援、ふる協・市地域支援課との連携による通いの場(まつば R)の支援
ボランティア育成等講座	実施なし
その他(広報等)	かしわお元気コール実施 [別記 62 頁]

(3) 光ヶ丘地域いきいきセンター [H25. 5.11 開設]

項 目	H30	R1	R2
開 設 日 数	150 日	147 日	146 日
利 用 件 数	1,225 件	1,307 件	820 件
[手段] 電 話	374 件	432 件	265 件
来 所	661 件	666 件	454 件
訪 問	150 件	152 件	89 件
メ ー ル	40 件	57 件	12 件
[目的] 相 談	267 件	153 件	152 件
地域関係	534 件	696 件	349 件
事業関係	367 件	345 件	192 件
そ の 他	57 件	113 件	127 件

主 な 事 業

地 域 活 動 支 援	ふる協(地区社協)との連携、民児協との連携(担当ケースの調整)地域支えあい推進員との連携(支えあいコア会議、たすけあい団体交流会開催、新町会長へのヒアリングとたすけあい活動の説明)、スクールソーシャルワーカーと連携
ボランティア育成等講座	「だれかと会えるちょこっと体操講座」(地域サロン、介護予防センターほのぼのプラザと共催)「寒くても平気!みんな



	なでワイワイ体操講座」(地域サロンと共催)
その他(広報等)	かしわお元気コール実施[別記 62 頁]、光ヶ丘地域包括支援センターとの連携(定例会議への出席、個別ケース対応協力)

**(4) 豊四季台地域いきいきセンター [H27. 6. 2 開設]**

項 目	H30	R1	R2
開 設 日 数	150 日	151 日	141 日
利 用 件 数	1,434 件	1,300 件	1,061 件
[手段] 電 話	618 件	540 件	571 件
来 所	438 件	419 件	320 件
訪 問	354 件	322 件	155 件
メ ー ル	24 件	19 件	15 件
[目的] 相 談	127 件	141 件	150 件
地域関係	1,006 件	861 件	605 件
事業関係	237 件	214 件	220 件
そ の 他	64 件	84 件	86 件

主 な 事 業

地域活動支援	ふる協、地区社協(豊四季台・豊四季台西)との連携、ふる協・地区社協の一本化に向けたサポート、ボランティア団体の支援、町会等サロン訪問(再開に向けての支援)、ささえ愛実行委員会・WG 運営、さんあいネットワーク相談受付、地域支えあい推進員との連携(支えあい活動の推進等)
ボランティア育成等講座	実施なし
その他(広報等)	かしわお元気コール実施[別記 62 頁]、豊四季台プロジェクトにおける東京大学・柏市・UR 等関係機関との連携

**(5) 富勢地域いきいきセンター [H29. 5. 28 開設]**

項 目	H30	R1	R2
開 設 日 数	152 日	148 日	147 日
利 用 件 数	967 件	970 件	816 件
[手段] 電 話	156 件	195 件	206 件
来 所	629 件	541 件	477 件
訪 問	182 件	229 件	125 件
メ ー ル	0 件	5 件	8 件
[目的] 相 談	102 件	92 件	91 件
地域関係	687 件	642 件	495 件
事業関係	138 件	209 件	194 件
そ の 他	40 件	27 件	36 件

主 な 事 業	
地 域 活 動 支 援	ふる協（地区社協）との連携、サロン・通いの場を訪問、地域支えあい推進員との連携（たすけあい団体立ち上げ支援、支えあい活動推進）、布施新町みらいプロジェクトの活動支援
ボランティア育成等講座	「みんなでちょっと体操」（地域サロン、介護予防センターほのぼのプラザと共催）
その他（広報等）	かしわお元気コール実施 [別記 62 頁]

**(6) 田中地域いきいきセンター [R1. 8.19 開設]**

項 目	H30	R1	R2
開 設 日 数	—	87 日	144 日
利 用 件 数	—	657 件	1,192 件
[手段] 電 話	—	250 件	567 件
来 所	—	273 件	405 件
訪 問	—	104 件	121 件
メ ー ル	—	30 件	99 件
[目的] 相 談	—	35 件	83 件
地域関係	—	561 件	936 件
事業関係	—	55 件	166 件
そ の 他	—	6 件	7 件

主 な 事 業	
地 域 活 動 支 援	ふる協（地区社協）との連携、町会等のサロン訪問、子育てサロンの再開に向けての支援、地域支えあい推進員との連携（支えあい会議、新町会長へ助けあい活動の説明等）、田中地域の小・中学校訪問（協力関係の構築、連携）
ボランティア育成等講座	「アクティブ体操を体験しよう！」（地域サロン、介護予防センターほのぼのプラザと共催）
その他（広報等）	かしわお元気コール実施 [別記 62 頁]

**(7) 南部地域いきいきセンター [R2. 5.11 開設]**

項 目	H30	R1	R2
開 設 日 数	—	—	126 日
利 用 件 数	—	—	569 件
[手段] 電 話	—	—	216 件
来 所	—	—	211 件
訪 問	—	—	132 件
メ ー ル	—	—	10 件
[目的] 相 談	—	—	107 件

地域関係	—	—	272 件
事業関係	—	—	174 件
そ の 他	—	—	16 件

### 主 な 事 業

地域活動支援	ふる協（地区社協）との連携（町会サロン代表者会議・スキルアップ講座）、町会等のサロン訪問（再開に向けての支援、助成金の説明）、地域支えあい推進員との連携（新町会長への町会活動ヒアリングと支えあい活動説明、支えあい会議、町会での助けあい活動立上げ支援等）
ボランティア育成等講座	「お元気コールボランティア養成講座」（いきいきセンター主催）、「ふれあいウォーキングで顔をあわせるの会」（地域サロン、介護予防センターほのぼのプラザと共催）
その他（広報等）	かしわお元気コール実施〔別記 62 頁〕、南部地域包括支援センターとの連携、かしわ福祉権利擁護センターとの連携（終活応援ルーム「望」）

## 2

### 地区社会福祉協議会の支援

自主・市補助

地域福祉課

#### (1) 活動支援

市内 2・3 の地区社会福祉協議会で、地域の各種支えあい活動を展開しました。また、本会と地区社会福祉協議会が相互に連携が図れるよう、地区担当職員を配置し、福祉団体や行政機関と連携しながら地域福祉の推進に取り組みました。

項 目	H30	R1	R2
職員活動回数総数	1,410 回	1,403 回	944 回

#### ▶ 主な地区社協活動

区 域	地区社協名	主な活動
北 部	田中、柏の葉、西原、富勢、松葉、高田・松ヶ崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 役員会、運営委員会、部会等の会議</li> <li>▶ 地域福祉関係者会議</li> <li>▶ ボランティア講座、研修・勉強会</li> <li>▶ ふれあいサロン・喫茶、子育てサロン</li> <li>▶ 見守り、声かけ活動</li> <li>▶ 日常生活支援活動</li> <li>▶ 世代間交流（ふれあい給食）</li> <li>▶ 敬老・ふれあい・ひとり暮らしの集い</li> <li>▶ 相談窓口の設置、個別ケース相談</li> <li>▶ 地区懇談会</li> <li>▶ 支えあい会議</li> <li>▶ 地区内の支えあい活動団体支援</li> <li>▶ その他</li> </ul>
中 央	豊四季台西、豊四季台、柏中央、新富、旭町、新田原、富里、永楽台	
南 部	光ヶ丘、土(増尾)、南部、藤心、酒井根	
東 部	手賀、風早南部、大津ヶ丘・塚崎、風早北部	

## (2) 連絡会等の開催

期 日	主な内容	出席者
R2. 5. 20	第 1 回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (令和 2 年度地区社協活動助成金申請に係る資料を郵送)	0 名
9. 16	第 2 回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (サロン活動再開にあたっての留意点を郵送)	0 名
12. 16	第 3 回 (支えあいシンポジウム) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	0 名
R3. 1. 20	ふるさと協議会連合会合同 会計担当者初任者研修 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (令和 3 年度地区社協助成金説明動画を作成)	0 名
2. 17	第 4 回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (令和 2 年度地区社協活動助成金実績報告に係る資料を送付)	0 名

## (3) 活動助成金の交付

継続的な活動展開のため、運営及び活動費等を助成しました。地区別計画推進、支えあい活動、担い手育成、ネットワークづくり等を重点に交付しました。

地区社協助成金	H30	R1	R2
助成金総額[23 地区]	31,000,000 円	30,920,000 円	30,990,000 円

## (4) 情報提供

地区社会福祉協議会が発行した広報紙や、関係機関の事業及び講座・研修等の情報を各地区社会福祉協議会に提供しました。[毎月送付]

## (5) 活動実績報告書の作成

前年度活動実績の報告書を作成しました。[約 100 部]

## (6) 地区社協一般参加者傷害補償保険の加入

活動に参加する高齢者等一般住民のケガ等に対する傷害保険に加入しました。

<b>3</b>	<b>生活支援体制整備事業</b>	市委託・市補助	地域福祉課
----------	-------------------	---------	-------

地域支えあい推進協議会の開催・運営、支えあい会議の運営、支えあい推進員の育成・活動支援、たすけあいサービス、通いの場の担い手の養成やサービスの開発の業務を行いました。たすけあいサービス及び通いの場事業費補助事業を実施しました。

## (1) 地域支えあい推進協議会

つながりと支えあいのある地域の実現に向け、現状の活動や体制構築が適切に進められているか、進捗状況を報告し、課題解決を中心に議論しました。

期 日	主な内容
R2. 5. 29	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
[第 1 回] 10. 30	・ 地域元気情報の活用方法について
[第 2 回] R3. 2. 26 (書面会議)	・ 地域元気情報の発行について ・ 令和 3 年度生活支援体制整備事業の進め方について

## (2) 支えあいシンポジウム

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## (3) 地域協議体（支えあい会議）

### ① 住民への周知

紙ひこうき、高齢者いきいきガイド、5 年間の取り組み柏の支えあい、ハートページに掲載しました。

### ② 支えあい会議の開催 [全 15 地域／21 回開催]

地 域	回数	期 日
田 中	7 回	① 7. 22 (1 回) ②③ 9. 28 (2 回) ④⑤12. 3 (2 回) ⑥12. 5 ⑦ 3. 13
柏 の 葉	1 回	① 2. 13
西 原	1 回	① 7. 31
松 葉	1 回	① 3. 13
高田・松ヶ崎	1 回	① 3. 10
新 富	1 回	①11. 5
富 里	1 回	① 8. 27
永 楽 台	1 回	①11. 10
増 尾	1 回	①10. 21
光 ヶ 丘	1 回	① 3. 6 (書面)
藤 心	1 回	① 8. 9
酒 井 根	1 回	①10. 29
手 賀	1 回	①10. 7
風早南部	1 回	① 3. 13
風早北部	1 回	① 9. 29

#### (4) 生活支援コーディネーター

##### ① 第1層コーディネーター

地域支えあい推進協議会の運営、地域支えあい推進員の育成・支援、市域の人材育成、資源開発などを実施しました。

##### ② 第2層コーディネーター（地域支えあい推進員）

ア 委嘱16地域〔欠員：柏の葉、松葉、柏中央、新富、旭町〕

イ 研修・定例会

外部研修	7回延べ16名参加 [R2.7.27] 生涯現役オンラインセミナー [ 8. 5] 全社協主催オンラインサロン [ 10.13] 全社協オンラインサロン part2 [ 10.22] 住民主体の生活支援フォーラム（Zoom） [ 12. 8] 生活支援コーディネーター研究協議会 [ 12.11] 千葉県生活支援コーディネーター対象フォローアップ研修 [R3.3. 1] 東葛北部圏域生活支援コーディネーター圏域別情報交換会
実務者研修	[ 7.2・9] 地域支えあい推進員実務者研修（推進員4名）
定例会	毎月1回開催（内4回は研修）※4・5月の定例会は中止 [ 7.17] 研修「ZOOMにTRY!」/地域元気情報について/フレイル予防ポイントについて [ 10.14] ZOOM研修「医療従事者による感染対策」 活動紹介「子ども食堂立ち上げ」（風早北部地域） [ 12. 9] ZOOM研修「多様な通いの場の運営及び地域住民との連携」 [R3.2.12] 第1部「オンライン交流会（六月の村主催）」 第2部「オンライン交流会」参加の感想

ウ 活動〔延1,038回〕

	支えあい 会議、WG、 打合せ	地域活動等 への参加	活動の準備 及び立上げ までの支援	普及啓発	資料の 準備・作成	定例会、研修 地区担との 打合せ	合 計
柏 中 央	—	—	—	—	—	—	—
新 田 原	2	13	6	0	0	29	50
永 楽 台	1	18	10	0	0	24	53
富 里	4	20	1	0	8	34	67
豊四季台	5	41	6	5	1	19	77
旭 町	—	—	—	—	—	—	—
新 富	—	—	—	—	—	—	—
高田・松ヶ崎	6	27	22	1	3	29	88
松 葉 町	—	—	—	—	—	—	—

田 中	25	16	6	2	4	15	68
西 原	7	13	2	3	12	17	54
富 勢	1	24	8	10	7	22	72
増 尾	7	21	15	6	6	13	68
藤 心	6	26	7	2	7	15	63
光ヶ丘	15	18	1	2	33	28	97
酒 井 根	8	9	4	4	3	22	50
南 部	6	30	0	0	8	24	68
風早北部	5	5	14	4	10	17	55
風早南部	10	12	2	3	12	15	54
手 賀	4	14	4	6	7	19	54
合 計	112	307	108	48	121	342	1,038

#### (5) 生活支援の担い手の養成やサービスの開発

##### ① 柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）養成講座 [1回開催 10名養成]

	期 日	申込	修了者	現場見学実習参加者
第1回	6.2・3	9名	中止	中止
第2回	9.29・30	13名	10名	中止
第3回	2.3・4	8名	中止	中止

##### ② 生活支援人材無料職業紹介所

求職者	求人事業所	採用決定
13名	7事業所	12名

##### ③ たすけあい活動団体研修会 ※オンライン併用での開催

期 日	主な内容	参加者
R2.9.10	かかえこまないコーディネート（入門編）	25名
9.17	多様なニーズにどう応えるか	21名
9.24	たすけあい活動を楽しく継続させるためには	27名

##### ④ オンラインでつくる！みんなの居場所講座

期 日	主な内容	参加者
R3.2.10	①ZOOMに出会う	21名
2.17	②想いを言葉に	21名
2.24	③ZOOMの仲間と夢を語る	20名
3.24	改めて、みんなと出会う（リアル開催）	16名

##### ⑤ 通いの場オンライン交流会

期 日	主な内容	参加者
R2.7.14	コロナ禍の現状と対策、コロナ禍から学ぶこと	16名
9.8	再開後の情報共有、新たな取り組みの紹介	19名
11.13	オンラインを活用している通いの場の事例発表、意見交換	16名

## (6) たすけあいサービス及び通いの場事業費補助金交付

### ① 補助事業の広報・周知

広報かしわ（地域包括支援課協力）、柏市社会福祉協議会ホームページへ掲載、柏市社会福祉協議会窓口での配布をしました。

### ② 補助制度の説明会の開催（R2. 1. 21）

### ③ 補助金の交付審査

主な内容	
書類審査及び ヒアリング	たすけあいサービス 63 件 通いの場サービス 18 件
現地調査	通いの場サービス 0 件
交付審査会	▶ 常設型通いの場事業費補助金「運営費補助・家賃補助」 交付審査会（対象団体 0 件のため中止）

### ④ 補助金交付団体

#### ▶ たすけあいサービス事業費補助金交付団体

	H30	R1	R2
交付団体	51 団体	60 団体	62 団体
（内訳）町会	27 団体	31 団体	34 団体
コミュニティ	15 団体	18 団体	18 団体
複数コミュニティ	9 団体	11 団体	10 団体
活動登録者数	1, 471 人	1, 651 人	1, 729 人
（内訳）町会	749 人	827 人	869 人
コミュニティ	559 人	608 人	690 人
複数コミュニティ	166 人	216 人	170 人
利用者数（登録又は実人数）	1, 877 人	2, 225 人	2, 171 人
（内訳）町会	632 人	757 人	700 人
コミュニティ	317 人	491 人	524 人
複数コミュニティ	928 人	977 人	947 人
内ゴミ出し利用者実人数	—	—	271 人
（内訳）町会	—	—	100 人
コミュニティ	—	—	128 人
複数コミュニティ	—	—	43 人
年間延べ活動者数	12, 800 人	21, 457 人	15, 512 人
（内訳）町会	3, 133 人	4, 943 人	4, 517 人
コミュニティ	2, 904 人	8, 927 人	6, 599 人
複数コミュニティ	6, 763 人	7, 587 人	4, 396 人

#### ▶ 通いの場事業費補助金交付団体

	H30	R1	R2
交付団体数	16 団体	19 団体	18 団体
（内訳）週一型	11 団体	12 団体	12 団体
常設型	5 団体	7 団体	6 団体
年間延べ開設回数	2, 410 回	2, 531 回	968 回



(内訳) 週一型	1,204 回	980 回	264 回
常設型	1,206 回	1,551 回	704 回
年間延べ利用者数	51,934 人	57,249 人	15,192 人
(内訳) 週一型	20,774 人	18,458 人	3,394 人
常設型	31,160 人	38,791 人	11,798 人
一日あたり利用者数	341 人	438 人	229 人
(内訳) 週一型	210 人	265 人	135 人
常設型	131 人	173 人	94 人

▶ 通いの場事業費（コロナによる自粛期間中の家賃補助）

交付団体数	交 付 額
6 団体	560,000 円

## (7) たすけあいサービス実施団体向けの活動保険加入受付

### ① 活動補償事業の広報・周知

地区社会福祉協議会連絡会、非営利団体連絡会等、たすけあいサービスを実施する団体への通知を行いました。

### ② たすけあいサービスを実施する団体の保険加入申請受付事務

	町会エリア	コミュニティエリア
申 請 受 付 団 体 数	34 団体	17 団体
申請事務（延べ活動従事者数）	10,123 人	
事 故 対 応 数	1 件	

## (8) 支えあい推進活動支援金交付

### ▶ たすけあいサービス立ち上げ支援金

たすけあいサービス立ち上げ団体を対象にたすけあいサービス立ち上げ支援金を交付しました。

交付団体数	交 付 額
4 団体	200,000 円

### ▶ 通いの場事業（週 1 型） コロナによる自粛期間中家賃補助

交付団体数	交 付 額
1 団体	150,000 円

## (9) 地域元気情報の発行

高齢者の活躍の場を推進するために、様々な地域活動等をまとめた地域元気情報を発行しました。

### ① 柏市域版（19,500 部発行）

スマホやパソコンから見るができる情報サイトをまとめ、はたらく、習う・学ぶ等のカテゴリ別のホームページを紹介しました。



② 地域版（600 部×21 地域発行）

地域毎に、たすけあい・通いの場・サロン、身近なサークル情報を計 906 団体掲載しました。

4

ボランティア活動【ボランティアセンター】

自主・市補助

地域福祉課

(1) 啓発活動

ボランティアセンターパンフレット、登録ボランティア団体一覧発行、通年ボランティア冊子（ボラ∞）、ホームページリニューアル、お知らせメールの活用等を行いました。

(2) ボランティアの育成講座

項 目	H30	R1	R2
講座数	11 講座 41 回	7 講座 26 回	8 講座 15 回
延参加数	603 名	435 名	219 名

▶ 実施講座一覧

期 日	回 数	延人数
ボランティア入門講座 vol.1	1 回	11 名
入門講座 vol.1 終了後の体験	2 回	4 名
ボランティア入門講座 vol.2	1 回	14 名
入門講座 vol.2 終了後の体験	0 回	0 名
※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止		
ドラムサークルファシリテーターフォローアップ講座	1 回	19 名
精神保健ボランティア養成講座（全 4 回）	4 回	50 名
※3 回目は体験として 2/15～3/12 の間で実施		
保育・見守りボランティア養成講座	1 回	7 名
災害ボランティアコーディネーター養成講座	3 回	86 名
災害ボランティアコーディネーターフォローアップ講座	1 回	18 名
車椅子点検ボランティア交流会	1 回	10 名



オンラインでドラムサークルフォローアップ講座



精神保健ボランティア養成講座

### (3) ボランティアの登録・支援

活動の促進を図るため、グループへの助成金交付、活動上の連絡調整や課題等の相談支援を行いました。

#### ① 社協登録

登録種別	H30	R1	R2
グループ	129 グループ 2,721 名	134 グループ 2,748 名	132 グループ 2,381 名
個人	1,065 名	1,094 名	931 名
計	3,786 名	3,842 名	3,312 名

#### ② 登録NPO法人

登録種別	H30	R1	R2
NPO法人	28 団体 2,801 名	28 団体 2,801 名	29 団体 2,770 名

### (4) ボランティア相談及び紹介事業

ボランティア活動に関するさまざまな相談に対応するため、ボランティアコーディネーターによるボランティア相談を実施しました。

#### ① 各種相談 [ボランティア相談等]

相談区分		H30	R1	R2
ボランティア活動に関する相談	活動依頼	1,729 件	1,228 件	185 件
	活動希望	589 件	817 件	283 件
	活動関係	5,762 件	1,562 件	1,460 件
	備品関係	2,072 件	921 件	378 件
その他の相談・問合せ	福祉相談等	2,449 件	1,324 件	613 件
計		12,601 件	5,852 件	2,919 件

#### ② ボランティアコーディネート

内容区分	H30	R1	R2
活動情報等希望	0 件	0 件	0 件
障害者関係	8 件	9 件	1 件
高齢者関係	21 件	11 件	4 件
児童関係	18 件	55 件	31 件
レクリエーション	342 件	269 件	23 件
イベント関係	111 件	96 件	10 件
傾聴関係	4 件	1 件	2 件
収集ボランティア関係	0 件	0 件	1 件
環境関係	1 件	0 件	0 件
その他	4 件	2 件	2 件
計	509 件	443 件	74 件

## (5) ボランティア活動保険・行事用保険

ボランティア活動者の保険（登録外ボランティア、災害支援ボランティア等）及びボランティア行事用保険の契約手続を行いました。

保険種別	H30	R1	R2
活動保険	157 件[ 1, 173 名]	176 件[ 1, 159 名]	84 件 [ 998 名]
行事保険	138 件[10, 430 名]	123 件[ 9, 885 名]	42 件 [4, 475 名]
計	295 件[11, 603 名]	299 件[11, 044 名]	126 件 [5, 473 名]

## 5

### 災害ボランティアセンター

自 主

地域福祉課

#### (1) マニュアル改訂・資機材整備

コロナ禍に対応した災害ボランティアセンターのあり方について検討し、感染予防対策及び密を避けた会場レイアウトに変更し本会及び市役所の駐車場にて立ち上げ訓練を行いました。



#### (2) 災害ボランティアコーディネーター自主勉強会等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### (3) 災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害ボランティアセンター運営に市民の参画を図るため、コーディネーター養成講座（訓練含む）を開催しました。

項 目	H30	R1	R2
養成人数	16 名	16 名	22 名

#### (4) 職員研修・訓練

万一の体制整備の一環として、研修及び訓練を実施しました。

期 日	項 目	主な内容
毎月 1 回	初期行動訓練	メーリングリストによる送受信訓練
R2. 11. 12	職 員 研 修	マニュアル確認と訓練説明他
11. 14	災害ボラ訓練	災害ボランティアセンター設置・運営訓練

## 6

### ふれあい型給食サービス

自 主

地域福祉課

ひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアが中心となって手作り弁当の配食（会食）

を実施している団体の助成等を行いました。

団体名	H30	R1	R2
みのり会富勢地区 [富 勢 地 区]	358 名	311 名	0 名
富里地区社協とみさと会 [富 里 地 区]	630 名	601 名	44 名
ゆずり葉の会 [沼南エリア]	1,175 名	1,076 名	0 名
計	2,163 名	1,988 名	44 名

※表中の利用者数は、助成対象事業の利用者数

## 7

### 総合福祉センターイベント開催事業

市 委 託

地域福祉課

#### (1) ボランティア人材育成講座

R3. 2. 8・15	親子スペースサポートボランティア養成講座	延べ 18 名
2. 18	テーブルゲーム交流マイスター養成講座	21 名
2. 26	中高生の居場所サポートボランティア養成講座	11 名

#### (2) ボランティア団体等が行うイベント等の支援（連携事業）

引きこもり家族の会（さなぎの会）	1 名
進路未決定の卒業生向け個別相談会	5 名
子育て応援フォーラム	141 名
相談支援のひとりごと ～障がいのある我が子の明るい未来のために～	10 名
子育てママが知っておきたい！知らない怖い歯のお話	7 名
親子 de 踊ろう！障がいのある子のためのダンス教室	5 名

#### (3) その他、利用者の支援

- ① 親子スペースの環境整備（おもちゃ、絵本、人工芝、おえかきコーナー整備）
- ② 多世代交流スペースの環境整備（レイアウト整備、利用者の見守り及び対応）
- ③ 2階貸出部屋利用者の支援（鍵の受け渡し、備品貸し出し）

## 8

### 地域子育て支援拠点事業

市 委 託

相談支援課

無垢のフローリングが敷き詰められた約 190㎡の施設では、未就学児の親子や妊娠中の方が気軽に交流し、情報交換をしています。



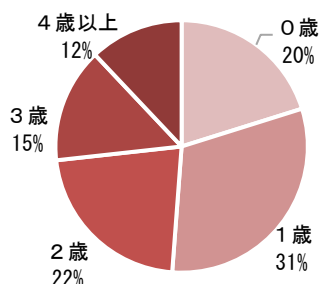
地域子育て支援拠点事業「はぐはぐひろば沼南」

4～5月の緊急事態宣言に伴う施設閉館時には、ホームページで「子育て応援動画」や「子育て情報」を配信しました。6月以降は、感染予防対策として予約制による3枠（1枠2時間）入替制とし、入替ごとに施設内を消毒しました。なお、育児講座等も予約制で実施しました。

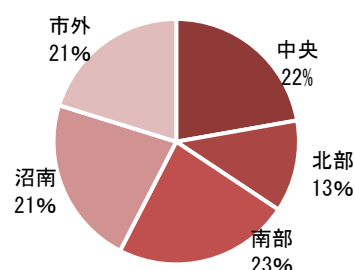
## (1) 利用者数

項 目	H30	R1	R2
相 談 件 数	285 件	315 件	290 件
利用登録世帯数	1,170 世帯	827 世帯	648 世帯
[累計数]	[4,007 世帯]	[4,834 世帯]	[5,482 世帯]
年間利用者数	24,965 名	22,922 名	14,153 名
[世帯数]	[10,544 世帯]	[9,500 世帯]	[ 872 世帯]

こどもの年齢別割合



利用世帯の居住エリアの割合



## (2) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

項 目	H30	R1	R2
育児講座 (毎月1回以上)	16 回	13 回 (3月中止)	7 回 (4～7月・1月中止)
	623 名 [ 297 組]	594 名 [ 258 組]	120 名 [45 組]
0歳のじかん	毎週1回	第1週を除いた週1回 (3月中止)	毎週1回 (4～6月中止)
	回数 延組数	35 回 413 組	33 回 156 組
1歳のじかん	—	毎月1回 (3月中止)	第1・3週1回 (4～8月中止)
		回数 延組数	14 回 70 組
その他イベント	・季節のおたのしみ（端午の節句／七夕会／まつり クリスマス会／節分会／おひなまつり） ・誕生会      ・リユース会		

[育児講座の内容] 手品／親業／産後ドゥーラ／他

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止期間あり（上記記載）。開催後は、予約制で実施及び3密を避ける内容に変更。

### (3) ニコニコデイズの実施

毎月第3月曜日をニコニコデイズとし、ボランティア団体と子育て親子との交流イベントを実施しました。

項 目	H30	R1	R2
実 施 回 数	12 回	11 回	8 回 (4～7月まで中止)
延参加者数	558 名	515 名	102 名
延ボランティア数	68 名	59 名	15 名

[主な内容] スイーツデコ／フルーツとピアノのコンサート／ハンドマッサージ／他

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止期間あり(上記記載)。

## 9

### 利用者支援事業

#### 市 委 託

#### 相談支援課

はぐはぐひろば沼南にて、子育て支援アドバイザーによる、育児に悩む保護者からの個別相談、行政や地域、各種支援サービスの情報提供や仲介・調整を行い、状況に応じて適切なサービスを選択し、利用できるように支援しました。出張相談は、パレット柏、オープンスペース（第1・4水曜日）が新型コロナウイルス感染防止により閉鎖したため休止となりましたが、令和3年1月から、T-SITE 柏の葉内の「T-KIDS」（第2・3水曜日）で、予約制による出張相談を新たに始めました。

#### (1) 相談実績

項 目	H30	R1	R2
相談件数	766 件	701 件	1,023 件
[手段] 来所	586 件	567 件	943 件
電話	47 件	37 件	49 件
出張 (※1)	133 件	97 件	18 件
その他 (※2)	—	—	13 件
[新規]	558 件	514 件	686 件
[継続]	208 件	187 件	337 件
他機関へ繋ぐ	9 件	8 件	7 件

※1 [主な出張先] T-SITE 柏の葉

※2 [その他] 他機関との問い合わせ（気になる利用者）

#### (2) 主な相談内容

項 目	H30	R1	R2
基本的生活 [睡眠・授乳・離乳食等]	120 件	140 件	157 件
育 児 方 法 [健康・教育・しつけ等]	261 件	182 件	296 件



発 育 発 達 [言葉・性格・社会性等]	125 件	139 件	219 件
医 療 関 係 [病気・事故・予防接種等]	22 件	34 件	24 件
生 活 環 境 [家庭・近隣・人的関係]	145 件	92 件	194 件
園 生 活 [入園・在園等]	180 件	124 件	147 件
母自身の悩み	—	—	120 件
そ の 他	231 件	202 件	99 件

※1 件で複数の相談項目が重複することがあるため(1)相談実績の件数と一致しない

## 10 こどもの居場所活動団体の支援

自 主

地域福祉課

### (1) こどもの居場所活動団体等連絡会

こどもの居場所活動団体間の繋がりや課題共有の場として意見交換を実施しました。また、情報共有方法の確立、今後の支援について共有を行いました。

期 日	内 容	参加者
R2. 8. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナ禍における各団体の近況報告</li> <li>▶ 意見交換</li> </ul>	12 名

### (2) こどもの居場所活動助成金の交付

継続的な活動展開のため、こども食堂、学習支援のこどもの居場所団体に対し、活動運営及び活動費等を助成しました。

こどもの居場所活動助成金	H30	R1	R2
助成金総額	294, 000 円	457, 000 円	500, 000 円
団 体 数	7 団体	7 団体	7 団体

## 11 地域活動館の運営 [共同研究事業]

自 主

企画調整室

東京大学から運営を承継し、本会が主体となって多世代に開かれた場づくりとコミュニティ活動の支援等を実施しました。

特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを作成し、十分な対策を講じたうえで運営を行いました。

次年度からは、本会の使命や役割を踏まえ、団体等への貸館機能だけでなく、多様な機能を持つ場として、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいきます。





項目	H30	R1	R2
延べ利用団体数	—	273 団体	123 団体
延べ活動者数	—	1,073 名	552 名
延べ参加者数	—	5,151 名	892 名
情報交換会	—	—	148 団体 195 名

※令和元年度は東京大学による運営

※令和2年度は緊急事態宣言の発出期間中は閉館（4/1～6/30 及び 1/8～3/21）

## 12

## コロナ禍における地域支援の取り組み

自主

地域福祉課

コロナ禍で活動の休止や外出自粛によりつながりが希薄となり、孤立、こもりがちによるフレイルが懸念されるなかで、「つながりを絶やさない」ために各種の取り組みを行いました。

### (1) エ夫している事例の情報収集と発信（介護予防担当）

いきいきマキコムによる地域の取り組みの情報収集及び発信を行いました。サロン活動休止の代替案として、ラジオ体操やウォーキング等を通じて顔をあわせる活動が生まれました。



	タイトル	発行日	紹介団体
1	はじめよう、新たな地域活動	R2. 6. 16	お茶でもいかがですか（増尾）／おしゃべりサロン三木の会（富勢）／わらびが丘ふれあいサロン（酒井根）／若葉の会（田中）／ふれあいサロン呼塚（柏中央）／風早北部にここサロン（風早北部）／ふる里カフェ（高田松ヶ崎）／和になろう会/サロン d e オリガミ（高田松ヶ崎）／はつらつサロン（新富）
2	「集まれない」中での新たな活動とは？	R2. 9. 15	布施新町ふれあい健康体操の会（富勢）／柏の葉・健康体操（田中・柏の葉）／お茶でもいかがですか（増尾）／介護者交流カフェくるる（豊四季台）／みんなのサロン・あい（松葉町）

3	地域活動応援ツールの活用方法	R2. 10. 27	介護予防センターが製作した、コロナ禍での地域活動支援ツールの紹介。紹介団体はなし
4	「つながりを絶やさない」を目指したみんなの工夫	R3. 1. 22	チャレンジの会（富勢）／たんぽぽの会（光ヶ丘）／多世代交流型コミュニティ実行委員会（風早南部）／新栄町会ふれあいの会クローバー（南部）／田中地区社会福祉協議会（田中）／サロンやまびこ（永楽台）／シニアクラブむつみ会（新田原）／は一とほっとサロン（ロコモスマイルクラブ）（柏中央）

## (2) 「新たな活動」についての考え方、工夫の具体的方法の発信（体制整備担当）

### ① 「これならできそう！」の発行

コロナ禍での活動や再開に向けた工夫点、新たな取り組みについての情報の収集及び発信の為「これならできそう！」を発行しました。通いの場やサロンのみならず、町会の集まりで配付する等、地域活動再開の議論の参考資料として活用いただきました。

タイトル	発行	内容
準備編	9 月	地域の活動者や参加者の声、再開したところの工夫点、他市の取り組み事例を紹介
これから編	3 月	感染予防の基礎、新たな取り組みと工夫点紹介、活動実施の目安、もしもの時の対応



紙面「これならできそう！」



Zoom を活用したオンライン交流会

### ② 「通いの場オンライン交流会」の実施

市内週 1 型及び常設型通いの場 17 団体を対象とした「通いの場オンライン交流会」を開催し、通いの場間の情報を共有しました。コロナ禍の取り組みを共有したことで、屋外での活動やポスティング等、新たなつながり方や活動の方法が各地域で取られるきっかけとなりました。

開催日	参加人数	内容
R2. 7. 14	16 名	コロナ禍の現状と対策、コロナ禍から学ぶこと
9. 8	19 名	再開後の情報共有、新たな取り組み紹介
11. 13	16 名	オンラインを活用している通いの場の事例発表、意見交換

### (3) サロン団体等が新たな活動へ一歩を踏み出すための伴走型支援（地域いきいきセンター担当、介護予防担当）

体操、散歩などを通じたコロナ禍に合わせた居場所づくりをはじめめる機会を支援するため、サロン団体等と市社協（地域いきいきセンター担当、介護予防担当）が共催で講座を行いました。

「久々に顔を合わせることができて嬉しい」「講座終了後も続けていきたい」という声があがり、住民主体による活動として継続されました。また、企画が他の地域にも広がり、新たな講座の実施や活動につながりました。

地域	講座名
富 勢	みんなでちょっと体操
南 部	ふれあいウォーキングで顔をあわせるの会
田 中	アクティブ体操を体験しよう！
光ヶ丘	だれかと会えるちょこっと体操
風早南部	顔を合わせようの会



光ヶ丘地域の講座の様子



南部地域の講座の様子

### (4) つながり絶やさないためのツールづくり（介護予防担当）

#### ① 紙面講座

訪問活動のツールとして活用するサロン等団体に対し、紙面講座を作成・配付しました。  
※マキコム特別号第1弾～第3弾で地域活動支援の緊急対応として配付し、その後、紙面講座として本格的な運用を行いました。



	内容	発行日	配布枚数
1	マキコム特別号第1弾 自粛ムードの今だからできること	R2. 3. 27	2, 244
2	マキコム特別号第2弾 身体が喜ぶ食べ物で免疫力アップ	4. 20	2, 773

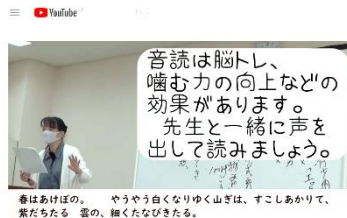
3	マキコム特別号第3弾 作ってみよう、簡単マスク	4. 20	2, 088
4	紙面講座 vol. 1 川柳で今の思いを伝えよう	5. 28	2, 577
5	紙面講座 vol. 2 活動不足解消 1 分間トレーニング	6. 16	2, 657
6	紙面講座 vol. 3 良質な睡眠を促す運動講座	6. 16	3, 484
7	紙面講座 vol. 4 ヨーガの呼吸と動きで免疫力アップ	6. 16	3, 437
8	紙面講座 vol. 5 つつい出来ちゃう暇つぶしレクリエーション	7. 22	3, 117
9	紙面講座 vol. 6 コグニサイズで認知症予防	9. 1	6, 565
10	紙面講座 vol. 7 椅子を使ってかんたんストレッチ	10. 20	9, 642
11	紙面講座 vol. 8 おうちやサロンで指体操をやってみよう	R3. 1. 15	3, 231
12	紙面講座 vol. 9 座って楽しむゴムバンド体操	2. 5	975
13	紙面講座 vol. 10 笑顔と元気が出る体操	3. 22	610

## ② 動画配信

在宅での介護予防活動の啓発及び、新たな介護予防ツールの開発を目的に「かしわ地域まるごと健康ちゃんねる」を作成し、動画の作成、配信を行いました。  
配信動画 URL <http://kashiwa-shakyo.com/publics/index/211/>



やさしいエアロビクス



声に出して読んでみよう「枕草子」



	講座名	講師
1	スムーズに動けるからだづくり	本井傳 悟
2	川柳で今の思いを伝えよう	上鈴木 春枝
3	やさしいエアロビクス	佐々木 務代
4	元気をもらえるストレッチ&筋トレ	佐々木 務代
5	しっかりほぐして安心ヨガ その1	西村 公美恵

6	しっかりほぐして安心ヨガ その2	西村 公美恵
7	しっかりほぐして安心ヨガ その3	西村 公美恵
8	コーヒーで楽しい絵手紙	安島 千枝子
9	声に出して読んでみよう枕草子	上鈴木 春枝
10	おうちやサロンで指体操をやってみよう	(監修) 川崎 浩子
11	座って楽しむゴムバンド体操	(監修) 川崎 浩子
12	笑顔と元気になる体操 その1	長岡 智津子
13	笑顔と元気になる体操 その2	長岡 智津子
14	笑顔と元気になる体操 その3	長岡 智津子

※作成した動画は介護予防グッズ（DVD）として貸し出しを実施

## V 福祉教育

### 1 福祉教育パッケージ指定地域の支援

県社協助成

地域福祉課

県社協・県教育委員会による福祉教育パッケージの指定について、令和3年度から指定を受ける地域の調整を行いました。

### 2 体験学習支援

自 主

地域福祉課

#### (1) 福祉体験への支援

高齢者疑似体験等（高齢者疑似・アイマスク・車いす・手話・点字体験、障害理解の講話等）を企画した学校・企業等[延 467 名]に対し、ボランティア[延 13 名]や職員を派遣し、体験学習支援を行いました。また、障害当事者団体と連携した講座も実施しました。

区 分	H30	R1	R2
小 学 校	12 回	10 回	3 回
中 学 校	1 回	1 回	0 回
高校・大学・専門	2 回	2 回	1 回
地 域	5 回	7 回	1 回
企業・その他	3 回	4 回	2 回
計	23 回	24 回	7 回

#### (2) 福祉教育ボランティアのフォローアップ（交流会）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### (3) 夏季ボランティア体験【夏ボラのススメ】

青少年（小学生から大学生まで）を対象に夏季ボランティア体験学習の受入先を紹介する冊子「夏ボラのススメ」を作成し、市内の施設・団体の協力を得て、夏休みを利用したボランティア体験学習を実施しました。

[実施期間：R2. 7. 1～ 8. 31]

項 目	H30	R1	R2
受入施設	95 施設	95 施設	76 施設
受入団体	58 団体	42 団体	32 団体
体験人数	延 596 名	延 676 名	延 132 名



#### (4) 福祉教育普及パンフレット「ふくしの種」

児童が福祉に触れる機会の充実を図るため、市内小学生に対し、「おうちの人と考える福祉」をテーマに、普及啓発パンフレットを配布しました。



普及啓発パンフレット「ふくしの種」

#### (5) 福祉体験教室

当事者やボランティア団体の協力を得て、小学生を対象に、夏休み期間中を利用した福祉体験教室を実施しました。

項 目	H30	R1	R2
開催日数	4 日	2 日	2 日
内 容	①手話 ②点字 ③バリアフリー体験 ④バリアフリーお楽しみ会	盲導犬について学ぶ ①いきいきプラザ ②沼南社会福祉センター	盲導犬ユーザーとピーウォーカーについて学ぶ ①いきいきプラザ ②沼南社会福祉センター
参加人数	70 名	62 名	60 名

#### (6) 体験機材等の貸出

項 目	H30	R1	R2
車 い す	34 件 252 台	23 件 173 台	11 件 69 台
高齢者疑似体験道具	42 件 272 個	31 件 302 個	14 件 99 個
ア イ マ ス ク	54 件 537 個	25 件 317 枚	貸出中止
白 杖		18 件 246 個	18 件 220 個
点 字 練 習 器	5 件 118 個	6 件 222 個	5 件 248 個
沐浴・妊婦体験道具	9 件 19 個	4 件 23 個	3 件 12 個

### 3 「福祉の心」作品展

自 主

地域福祉課

市内小・中学校の児童・生徒を対象として、「しあわせのかたち」をテーマにポスター作品を募集し、福祉に対する意識の高揚を図りました。

入賞作品はイオンモール柏店、モラージュ柏店で展示しました。



イオンモール柏での作品展示

種 類	H30	R1	R2
ポスター	242 点	223 点	395 点

<b>4</b>	<b>実習生の受入</b>	<b>自 主</b>	<b>企画調整室</b>
----------	---------------	------------	--------------

**(1) 社会福祉士実習 ※企画調整室**

項 目	H30	R1	R2
受入数等 [24 日実習]	5 名 淑徳大、東洋大、聖徳大、 帝京平成大学 ※内 1 名は 16 日実習	7 名 上智大、日本大、東洋大、 聖徳大、日本福祉大、 帝京科学大学 ※内 1 名は 30 日実習	7 名 淑徳大、聖徳大、帝京平 成大、日本福祉教育専門 学校 ※内 2 名は 16 日実習

**(2) 公衆衛生看護学実習 ※沼南地域包括支援センター**

項 目	H30	R1	R2
受入数等 [2 日実習]	—	1 名 聖徳大学	1 名 聖徳大学

**(3) 老年看護学実習 ※老人福祉センター 3 館**

項 目	H30	R1	R2
受入数等 [1 日実習]	—	81 名 東京情報大学、 葵会柏看護専門学校	79 名 葵会柏看護専門学校

**(4) 母性看護学実習 ※子育て支援グループ**

項 目	H30	R1	R2
受入数等 [1 日実習]	—	14 名 慈恵柏看護専門学校	16 名 葵会柏看護専門学校

**(5) 中学校職場体験 ※ほのぼのプラザますお**

項 目	H30	R1	R2
受入数等 [1 日実習]	1 名 白山中学校/生徒	1 名 白山中学校/生徒	—

**(6) 東京大学オンライン実習 ※子育て支援グループ**

項 目	H30	R1	R2
受入数等	—	—	4 名



## VI 在宅福祉サービス

### 1 さわやかサービス

自主・市補助

地域福祉課

会員制による住民参加型有償在宅福祉サービス事業（さわやかサービス）を実施し、市民相互の支え合いを基盤に、日常生活にお困りの高齢者・障害者、産前産後の母親などに対し、在宅福祉サービスを提供しました。



さわやかだより

#### (1) 会員登録数

区 分		H30	R1	R2
利用会員	登 録 数	558 名	591 名	632 名
	年度中入会数	199 名	216 名	191 名
	年度中退会数	155 名	183 名	150 名
協力会員	登 録 数	139 名	149 名	168 名
	年度中入会数	23 名	31 名	32 名
	年度中退会数	46 名	21 名	13 名

#### (2) サービス実施状況

##### ① 生活援助サービス・介護サービス

日常生活の支援が必要な方（利用会員）に対し、協力会員による入院中の支援を含めた生活援助サービス、介護サービス、産前産後支援を実施しました。

種 類	H30	R1	R2
生活援助サービス	3,848 件	3,651 件	2,714 件
	5,778 時間	5,098 時間	3,995 時間
〔内訳〕 産前産後支援	410 件	484 件	430 件
	725.5 時間	887.5 時間	722.5 時間
介 護 サ ー ビ ス	464 件	545 件	239 件
	751 時間	888 時間	423 時間
計	4,312 件	4,196 件	2,953 件
	6,529 時間	5,986 時間	4,418 時間

##### ② 緊急通報サービス

ホームネット(株)と提携し、緊急援助が必要な場合に提携のタクシー会社が急行し、状況に応じ消防署等に出動依頼を行うサービスを実施しました。

項 目	H30	R1	R2
加入世帯	10 世帯	10 世帯	10 世帯
通報件数	13 件	6 件	10 件

※通報には、軽微な介護等によるものを含む

### ③ 相談事業

窓口・電話・訪問等により在宅福祉や介護についての相談を実施しました。

区 分	H30	R1	R2
会員からの相談	2,429 件	4,164 件	3,622 件
会員外からの相談(ケアマネ等)	421 件	385 件	382 件

### (3) 人材育成・交流活動

種 類	主な内容	H30	R1	R2
協 力 会 員 登 録 時 研 修	新規登録の協力会員を対象 とした基礎研修	7 回 25 名	7 回 34 名	7 回 32 名
講習・研修会	産前産後講習、協力会員研修、 非営利団体連絡会研修、コーディネーター研修	6 回 87 名	5 回 84 名	2 回 32 名
会 員 交 流 会	全体交流会、男性協力会員 交流会	2 回 48 名	1 回 28 名	0 回 0 名
非 営 利 団 体 連 絡 会	情報交換	2 回 42 名	2 回 40 名	0 回 0 名

### (4) 普及啓発活動

項 目	主な内容
地域福祉の情報紙「紙ひこうき」 「広報かしわ」、協力会員募集チラシ	[随 時] 事業内容周知、会員募集
会 報 「さわやかだより」	[年 3 回] 会員・関係機関配布 ※広告を掲載し自主財源の一助としている
非 営 利 団 体 連 絡 会 と の 合 同 パ ン フ レ ッ ト 作 成	[年 1 回] 各団体活動周知、会員募集

## 2

### 移動サービス

自主・市補助

総 務 課

車いすを使用するなど、公共交通機関を利用することが困難な方について、福祉車両(6台)による移動支援を行いました。



移動サービスを行う福祉車両「こらくだくん」

### (1) 利用件数等

項 目	H30	R1	R2
登録者数	369 名	390 名	412 名
利用件数	6,498 件	5,681 件	4,506 件
稼働日数	292 日	289 日	293 日
走行距離	109,508 Km	100,136 km	89,799 km
車両1台あたりの 1日平均利用件数	3.7 件	3.3 件	2.5 件

### (2) 福祉有償運送運転者講習会の開催（国土交通省認定）

新たなサービス提供者の育成を目的に、福祉有償運送運転者講習会を開催しました。

項 目	H30	R1	R2
福祉有償運送運転者講習 セダン等運転者講習	9 名	8 名	13 名
計	9 名	8 名	13 名
〔内訳〕 市内	7 名	1 名	5 名
市外	2 名	7 名	8 名
期 日	H30. 11. 9・10	R1. 10. 25・26	R2. 10. 23・24

## 3

### かしわファミリー・サポート・センター事業

#### 市 委 託

#### 相談支援課

安心して子育てができる環境づくりを目指し、育児の援助を行うことを希望する人（協力会員）と、その援助を受けることを希望する人（利用会員）で構成する、会員相互による育児の援助活動の相談及び支援を行いました。また、今年度は、協力会員獲得の取り組みに力を入れ、チラシの見直しや利用会員の多い地区の中学校でのチラシの配布、広報かしわへのファミサポ特集記事の掲載等を行いました。なお、一時預かり（ぞうさんルーム）は、毎週金曜日及び第1火曜日に加え、新たに第3火曜日を追加しました。

### (1) 会員登録数

区 分		H30	R1	R2
利用会員	登 録 数	1,775 名	1,960 名	2,014 名
	年度中入会数	361 名	299 名	197 名
	年度中退会数	80 名	114 名	143 名
協力会員	登 録 数	284 名	290 名	303 名
	年度中入会数	21 名	25 名	46 名
	年度中退会数	9 名	19 名	33 名

両方会員	登 録 数	86 名	103 名	113 名
	年度中入会数	20 名	23 名	24 名
	年度中退会数	4 名	6 名	14 名

## (2) 入会説明会・研修等

種 類	内 容	H30	R1	R2
利用会員入会 説 明 会	利用に関する説明	1 回	0 回	0 回
	※令和元年より廃止	2 名	0 名	0 名
	随時個別説明を実施	—	—	—
基礎研修会 〔協力会員〕	子供の心身発達・応 急処置等	4 回 49 名	4 回 46 名	6 回 58 名
協力会員フォロー アップ研修会	研修会、幼児安全法 救急講習会	12 回 153 名	9 回 122 名	5 回 59 名
ファミサポ フェスタ	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止	1 回 66 名	1 回 230 名	0 回 (中止)
地区別交流会	協力会員の交流	1 回	0 回	1 回
	事例検討	21 回	(中止)	1 回
地区リーダー 連絡調整会議	各地区の活動状況と 問題点	11 回 167 名	10 回 183 名	9 回 164 名

## (3) 援助活動状況

項 目	H30	R1	R2
事前打ち合わせ件数	318 件	282 件	180 件
援 助 活 動 件 数	10,414 件	11,082 件	5,937 件
ぞうさんルーム (一時預かり)	〔実施場所〕 沼南社会福祉センター 〔実施回数及び利用者数〕 53 回／98 名		

※新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも、年間を通じて通常の援助は実施。

ぞうさんルームについては、ひろば閉館時(4～5月)には休止。開館後は利用人数を半分に縮小して実施。

## (4) 普及啓発活動

項 目	主な内容
地域福祉の情報紙「紙ひこうき」	〔随 時〕 事業内容周知、会員募集
「 広 報 か し わ 」	〔随 時〕 事業内容周知、会員募集
協力会員向けリーフレット作成	〔随 時〕 事業内容周知、会員募集
利用会員向けリーフレット作成	〔随 時〕 事業内容周知、会員募集
ポ ス タ ー の 作 成 ・ 掲 示	市内保育機関、関係施設へ周知と会員募集
広 報 紙 「 ぞ う さ ん 通 信 」	〔年 4 回〕 会員・関係機関配布

緊急的かつ一時的に車いすを必要とする方に対し、無料で車いすを貸し出しました。

貸出場所	H30	R1	R2
ボランティアセンター	325 件	270 件	208 件
沼南社会福祉センター	84 件	100 件	50 件
柏 寿 荘	6 件	8 件	—
南部老人福祉センター	10 件	14 件	—
計	425 件	392 件	258 件

## VII 介護予防

1

### 介護予防センターにおける介護予防事業

市 委 託

地域福祉課

介護予防センター「ほのぼのプラザますお」及び「いきいきプラザ」を拠点として、介護予防の普及啓発、介護予防を支援する人材育成を目的に介護予防講座を実施するとともに、地域におけるサロン活動等の支援を行いました。

#### (1) 介護予防講座

介護予防活動を地域で担う人材を育成するための講座や高齢者の健康維持・介護予防につながる各種の講座を開催しました。

貸出場所	H30	R1	R2
ボランティアセンター	325 件	270 件	208 件
沼南社会福祉センター	84 件	100 件	50 件

区 分		講 座 数		延べ人数
		種 類	回 数	
ほのぼのプラザますお	人材育成	2 種	3 回	33 名
	一 般	17 種	49 回	599 名
いきいきプラザ	人材育成	5 種	5 回	59 名
	一 般	2 種	2 回	30 名
その他の施設	人材育成	3 種	5 回	46 名
	一 般	22 種	58 回	931 名
計		51 種	122 回	1,698 名

#### ① 地域包括支援センターとの連携

地域包括支援センターと連携して講座を実施し、地域課題解決を目指した講座の展開を行いました。

	講座名	連携団体	会場	実施日
1	千代田町公園ご近所体操	東口包括	千代田町公園	R2. 11. 2・7
2	豊四季台健康チャージ介護予防教室	西口包括	地域医療連携センター	11. 11・18・25、 12. 2・9
3	TX たなか駅発ぽかぽかショートウォーキング	北部包括	TX 田中駅前 (集合)	11. 10・17、 12. 1
4	ラジオ体操からはじめよう	北柏第2包括	松ヶ崎中央公園	R3. 1. 19・26、 2. 2・16、3. 2

## ② 講座参加者による自主グループ化

講座を通じて参加者のみで、もしくは参加者と講師との連携により、住民主体の自主介護予防活動を提案し、活動に至った。これらの試みを通じて、健康づくりを通じた居場所づくりを参加者へ提案するためのノウハウを、複数のパターン（ウォーキング、体操、運動講座）で蓄積することが出来ました。

	講座名	会場	実施日	講座終了後
1 ※	TX たなか駅発ぼかぼかウォーキング	TX 田中駅前（集合）	R2. 11. 10・17、 12. 1	ウォーキング G 開始
2	秋のご近所ウォーキング高柳	高柳近隣センター	10. 8・15、 11. 12	ウォーキング G 開始
3 ※	ラジオ体操からはじめよう	松ヶ崎中央公園	R3. 1. 19・26、 2. 2・16、3. 2	定例体操 G 開始
4	転ばないからだづくり	沼南社会福祉センター	R2. 12. 4・11・18、 R3. 1. 8・15	自主運動講座 G 開始

※印を付した事業は「①地域包括支援センターとの連携」と重複して記載。



「TX たなか駅発ぼかぼかウォーキング」



「千代田町公園ご近所体操」



「ラジオ体操からはじめよう」

## (2) パソコンルーム事業

情報社会の利便性と社会参加のツールとして基礎的なパソコン操作の修得を目的に「まいにちパソコン体験講座」を実施しました。

実施日数	実人数	延べ人数
219 日	112 名	1, 146 名

## (3) フレイル予防健康づくり出前講座

高齢者サロン等へ講師を派遣し、介護予防活動の普及啓発を図りました。

区 分	回 数	参加者
フ レ イ ル チ ェ ッ ク	12 回	156 名
栄 養 か ら 介 護 予 防	1 回	26 名
お 口 の 健 康 と 介 護 予 防	0 回	0 名
か し わ ロ コ ト レ !	1 回	16 名
体操やレクリエーションで楽しく介護予防	1 回	10 名
体 の ネ ジ し め 体 操	0 回	0 名
知 っ て 得 す る 節 約 術 !	0 回	0 名
計	15 回	208 名

#### (4) 介護予防グッズ貸出

高齢者サロン等の団体に対して、介護予防グッズ（全50品目）を貸出し、サロン等の運営支援を行いました。

貸出件数	延べ貸出点数
14件	28点

#### (5) 市民サポーター支援

##### ① かしわフレイル予防サポーター

東京大学高齢社会総合研究機構が開発したフレイルチェックの事業について、登録サポーターに関する従事者の調整をしました。

活動回数	延べ活動者数
18回	82名

※フレイルサポーター養成講座等の講座支援による活動を含む

##### ② かしわウォーキングサポーター

ウォーキング活動の支援や、ウォーキングイベントを実施するサポーターの活動を支援しました。

活動回数	延べ活動者数
49回	135名

※ウォーキング講座等の講座支援による活動を含む

##### ③ チームてんとう虫

推定歩行年齢がわかるロコモチェック（てんとう虫テスト）を実施するサポーターの活動支援は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

#### (6) ほのぼのプラザますご利用状況

介護予防講座を含む「ほのぼのプラザますお」の利用者数は次のとおりです。共有スペースを活用して、まいにち体操やボランティアの協力により各種イベント等を実施しました。

① 開館日数：219日、利用延べ人数：5,282名

② 内訳

区分		開催日数・利用件数	人数
くつろぎ館	まいにち体操	144日	1,517名
	その他	219日	1,383名
まなび館		135件	2,018名
ものしり館		40件	307名
ふれあい館		9件	57名
計			5,282名

※6月末日までコロナ禍により各事業の中止及び休館



## (7) その他

コロナ禍における地域活動支援の一環として、いきいきマキコムの発行、紙面講座の発行、配付、動画配信、地域いきいきセンターとの連携による居場所づくり講座を行いました。(40 頁「コロナ禍における地域支援の取り組み」参照)

### 2 老人福祉センターの介護予防事業等

指定管理

総務課

老人福祉センター 3 館[柏寿荘・南部・沼南]において、介護予防・世代間交流事業等を実施しました。[全 29 事業／延 3,348 名参加]

- ▶ 【再掲】詳細は、老人福祉センター管理経営事業に掲載

### 3 沼南地域包括支援センターの介護予防事業

市委託

相談支援課

介護予防普及啓発事業、地域活動組織への支援・出前講座等を実施しました。

[講座 3 回／延 34 名参加、支援・出前講座 15 回／延 180 名参加]

- ▶ 【再掲】詳細は、沼南地域包括支援センターに掲載

## Ⅷ 相談支援・貸付・援護金

<b>1</b>	<b>福祉総合相談事業</b>	自 主	相談支援課
----------	-----------------	-----	-------

### (1) 総合相談事業

福祉総合相談窓口として、相談受付・自立支援を実施しました。

#### ① 相談件数等

項 目	H30	R1	R2
合計相談件数	計 3,378 件	計 4,300 件	計 2,209 件
[手段] 来 所	1,015 件[30%]	1,212 件[28%]	732 件[33%]
電 話	2,231 件[66%]	2,956 件[69%]	1,459 件[66%]
訪 問 等	132 件[ 4%]	132 件[ 3%]	18 件[ 1%]
[状況] 新 規	710 件[21%]	898 件[21%]	919 件[42%]
継 続	1,811 件[54%]	2,439 件[57%]	1,000 件[45%]
再 来	436 件[13%]	448 件[10%]	233 件[10%]
調 整 等	421 件[12%]	515 件[12%]	57 件[ 3%]
[内容] 生計問題	3,099 件[92%]	2,656 件[62%]	1,647 件[75%]
(※) 生計以外	279 件[ 8%]	1,644 件[38%]	562 件[25%]

#### 主な相談内容

生計問題	生活費、職業（失業）、教育、住宅、後見等
生計問題以外	家族、障害・高齢者福祉、母子父子・児童福祉・法律等

※令和元年度より、相談内容（生計問題、生計問題以外）の集計方法を変更

#### ② 研修

心配ごと相談員をはじめ、日常生活自立支援事業生活支援員、相談業務担当職員等を対象にした相談援助従事者研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

期 日	内 容	参加者
R3. 2.20 (中止)	コロナ禍におけるメンタルヘルスについて	—

### (2) 心配ごと相談

心配ごと相談所の開所と心配ごとケース会議の開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止（中止）とする期間を設けましたが、状況を鑑みながら可能な限り開所（開催）しました。相談対応と相談技術の向上に努めました。

#### ① 相談件数（開設日数／相談件数）

実施場所	H30	R1	R2
いきいきプラザ	51 日／60 件	47 日／42 件	23 日／40 件

沼南社会福祉センター	49 日／36 件	47 日／33 件	29 日／19 件
計	100 日／96 件	94 日／75 件	52 日／59 件

## ② 相談内容

内 容	H30	R1	R2
1 生 計	1 件	7 件	3 件
2 年 金	0 件	0 件	2 件
3 職業・生業	4 件	2 件	4 件
4 住 宅	2 件	2 件	4 件
5 家 族	18 件	17 件	17 件
6 結 婚	0 件	0 件	1 件
7 離 婚	0 件	1 件	2 件
8 健康・保健	8 件	7 件	13 件
9 医 療	5 件	6 件	5 件
10 人権・法律	4 件	1 件	2 件
11 財 産	2 件	7 件	3 件
12 事 故	0 件	0 件	1 件
13 児童・母子保健	0 件	0 件	0 件
14 教育・青少年	1 件	1 件	0 件
15 障 害 福 祉	0 件	1 件	0 件
16 母子・父子福祉	0 件	0 件	0 件
17 高齢者福祉	3 件	3 件	6 件
18 苦 情	2 件	2 件	3 件
19 そ の 他	54 件	27 件	12 件
計	104 件	84 件	78 件
[終了／継続／紹介]	[77 件/16 件/11 件]	[57 件/18 件/ 9 件]	[54 件/ 5 件/19 件]

※1 件で複数の相談項目が重複することがあるため①相談件数と一致しない

## ③ ケース会議、研修会等

期 日	内 容	参加者
R2. 5. 11	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
7. 13	▶ 新人、現役、退任相談員からのあいさつ、令和元年度の振り返り、心配ごと相談員よりケース会議について	18 名
9. 14	▶ ご子息からお金の無心があることについて ▶ ペアである相談員のかかわり方について	18 名
11. 9	▶ 相談者の心に響く言葉について ▶ 近隣の迷惑行為と行政の対応の不満について	11 名
R3. 1. 18	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
3. 8	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—

## 2

## 福祉資金貸付事業

自主

相談支援課

低所得世帯で、他の施策による援助が困難な方へ貸付を実施しました。

また、過去5年間の滞納者に対する定期的な督促を実施するとともに、生活再建に係る相談支援を実施しました。

## (1) 貸付種類及び件数及び金額

種 類	H30	R1	R2
一 般 貸 付	466 件 8,250,500 円	632 件 10,318,440 円	656 件 11,519,826 円
特 別 貸 付	4 件 365,000 円	4 件 380,000 円	11 件 815,000 円
交通費貸付	18 件 5,570 円	13 件 4,030 円	13 件 3,880 円
計	488 件 8,621,070 円	649 件 10,702,470 円	680 件 12,338,706 円

## (2) 債権管理数（平成28年度～令和2年度貸付の内、返済中又は長期滞納案件）

397 件 [内 一般貸付 334 件、特別貸付 10 件、交通費 53 件]

## 3

## 生活福祉資金貸付事業

県社協委託

相談支援課

## (1) 生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金

種 類	H30	R1	R2
総合支援資金	0 件 0 円	0 件 0 円	0 件 0 円
福 祉 資 金	4 件 2,727,800 円 [内訳] 転宅費 2 件 840,000 円 技能習得費 1 件 1,800,000 円 福祉費 1 件 87,800 円	5 件 3,242,900 円 [内訳] 転宅費 1 件 470,000 円 障害者自動車購入費 1 件 2,500,000 円 福祉費 3 件 272,900 円	0 件 0 円
教育支援資金	11 件 14,274,900 円	26 件 31,194,200 円	33 件 44,611,400 円
緊急小口資金（通常）	18 件 1,701,300 円	38 件 3,860,000 円	43 件 4,220,000 円
臨時特例つなぎ資金	0 件 0 円	0 件 0 円	0 件 0 円
計	33 件 18,704,000 円	69 件 38,297,100 円	76 件 48,831,400 円

※令和元年度のみ緊急小口資金（通常）に（特例）貸付が含まれる[38 件中、特例貸付 6 件]

## (2) 不動産担保型生活資金

世帯主及び配偶者が65歳以上の世帯を対象とした、居住用不動産を担保とする生活資金貸付ですが、貸付はありませんでした。

項 目	H30	R1	R2
貸 付 件 数	0 件	0 件	0 件
貸付限度額	0 円	0 円	0 円

## (3) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金

世帯主及び配偶者が65歳以上の世帯で、貸付を受けなければ生活保護が必要となる世帯を対象とした、居住用不動産を担保として生活資金の貸付ですが、貸付はありませんでした。

項 目	H30	R1	R2
貸 付 件 数	1 件	0 件	0 件
貸付限度額	3,731,000 円	0 円	0 円

## (4) 緊急小口資金・総合支援資金（特例貸付） ※令和2年3月25日より運用開始

新型コロナウイルスの影響を受け、収入が減少された世帯を対象に、生活資金の貸付を行いました。

項目	H30	R1	R2
緊急小口資金 (特例)	—	6 件 800,000 円	2,226 件 433,450,000 円
総合支援資金 (特例)	—	0 件 0 円	1,778 件 909,600,000 円
総合支援資金 (特例) 延長	—	—	1,031 件 538,530,000 円
総合支援資金 (特例) 再貸付	—	—	233 件 123,810,000 円
計	—	6 件 800,000 円	5,268 件 2,005,390,000 円

※件数及び貸付額はともに決定したものとなる（申請中は除く）

## (5) 債権管理数（返済中又は長期滞納案件）

518 件 [内 福祉資金 23 件、教育支援資金 209 件、生活復興支援資金 1 件、総合支援資金(通常)142 件、離職者支援資金 3 件、緊急小口資金(通常)118 件、不動産担保型生活資金 3 件、要保護世帯向け不動産担保型生活支援資金 19 件]

## 4

## 交通遺児援護金等支給

自主・事務協力

相談支援課

交通事故により、父または母を失った18歳未満の遺児のいる世帯に対し、援護金等を支給しました。

## (1) 交通遺児援護金・高等学校入学支度金支給【自主】

種 類	H30	R1	R2
援 護 金 [1名 40,000 円]	8 世帯 10 名 400,000 円	9 世帯 9 名 360,000 円	5 世帯 9 名 360,000 円
支 度 金 [1名 50,000 円]	4 世帯 4 名 200,000 円	2 世帯 2 名 100,000 円	2 世帯 2 名 100,000 円
計	12 世帯 14 名 600,000 円	11 世帯 11 名 460,000 円	7 世帯 11 名 460,000 円

## (2) 交通遺児援護金勉強奨励金・激励金・見舞金【県社協事務協力】

種 類	H30	R1	R2
勉強奨励金 [1名 30,000 円]	1 世帯 1 名 30,000 円	3 世帯 3 名 90,000 円	1 世帯 1 名 30,000 円
激 励 金 [1名 60,000 円]	5 世帯 5 名 300,000 円	3 世帯 3 名 180,000 円	1 世帯 2 名 120,000 円
見 舞 金 [1名 100,000 円] 2人目からは 50,000 円	1 世帯 1 名 100,000 円	1 世帯 2 名 150,000 円	2 世帯 5 名 350,000 円
受験費用助成金 (※) [新 規]	—	2 世帯 2 名 124,400 円	1 世帯 2 名 138,800 円
計	7 世帯 7 名 430,000 円	9 世帯 10 名 544,400 円	5 世帯 10 名 638,800 円

※受験生1名あたりの助成額上限[高校受験：50,000 円、大学受験：100,000 円]

## 5

## 緊急援護金支給事業

自 主

相談支援課

既に貸付制度を利用し、また他の制度にも該当しない世帯で、やむを得ない事情により金銭的な支援が必要な場合に援護金を支給しました。

[支給世帯数 2 世帯：支給総額 170,000 円]

## 6

## 若者自立支援活動団体の支援

自主

相談支援課

若者の自立を支援する団体との相互理解を深めるとともに、連携・協力体制の充実と定着を図ること、継続的な活動展開に対する支援をすることを目的として、若者自立支援サポーター連絡会の開催、活動助成金の交付をしました。

## (1) 若者自立支援サポーター連絡会

期 日	主な内容	参加者
R2. 8. 4	コロナ禍での活動について、意見交換	16 名
R3. 3 月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—

## (2) 団体助成金【新設】

若者の居場所活動助成金	H30	R1	R2
助 成 金 総 額	350,000 円	400,000 円	300,000 円
団 体 数	2 団体	2 団体	2 団体

※39 頁/こどもの居場所活動団体の支援「(2) こどもの居場所活動助成金の交付」のうち、引きこもり等の若者団体支援分を分けて掲載

## 7

## 自殺予防対策事業【かしわお元気コール事業】

自主・市補助

地域福祉課

孤立しがちな高齢者等を対象に、電話声かけボランティアによる声かけを実施しました。

## (1) 電話声かけボランティア養成講座・ボランティア交流会

項 目	H30	R1	R2
養 成 講 座	4 回 9 名	2 回 14 名	1 回 12 名
交 流 会	9 回 80 名	4 回 27 名	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## (2) 利用登録者数

実施場所	H30	R1	R2
風早北部地域	13 名	9 名	8 名
松 葉 地 域	7 名	6 名	6 名
風早南部地域	10 名	8 名	6 名
光ヶ丘地域	15 名	13 名	10 名
豊四季台地域	2 名	2 名	4 名
富 勢 地 域	4 名	2 名	8 名

田 中 地 域	—	2 名	6 名
南 部 地 域	—	—	9 名
計	51 名	42 名	59 名

※休止中の利用者は除いた登録者数(年度末実績)

### (3) 電話声かけボランティア登録数

実施場所	H30	R1	R2
風早北部地域	12 名	14 名	14 名
松 葉 地 域	11 名	10 名	10 名
風早南部地域	12 名	12 名	11 名
光ヶ丘地域	18 名	12 名	18 名
豊四季台地域	12 名	11 名	11 名
富 勢 地 域	8 名	8 名	6 名
田 中 地 域	—	12 名	12 名
南 部 地 域	—	—	7 名
計	73 名	79 名	89 名

※登録数には、複数拠点で重複して登録している 9 名を含む [登録実人数：80 名]

### (4) 活動日数／延電話件数

実施場所	H30	R1	R2
風早北部地域	50 日／ 573 件	49 日／ 457 件	50 日／ 406 件
松 葉 地 域	50 日／ 341 件	49 日／ 302 件	50 日／ 276 件
風早南部地域	51 日／ 561 件	50 日／ 388 件	50 日／ 319 件
光ヶ丘地域	49 日／ 646 件	50 日／ 557 件	49 日／ 459 件
豊四季台地域	51 日／ 199 件	50 日／ 105 件	47 日／ 138 件
富 勢 地 域	50 日／ 164 件	49 日／ 127 件	50 日／ 122 件
田 中 地 域	—	8 日／ 19 件	50 日／ 210 件
南 部 地 域	—	—	36 日／ 187 件
計	301 日／2,484 件	305 日／1,955 件	382 日／2,117 件

### (5) 安否確認訪問回数

ボランティアによる電話声かけ時に不通だった場合、職員による安否確認のための訪問を実施しました。また、訪問により、早期の医療受診につなげたり、必要に応じた関係機関との連携・調整などを行いました。

実施場所	H30	R1	R2
風早北部地域	11 回	11 回	2 回
松 葉 地 域	1 回	1 回	1 回
風早南部地域	1 回	6 回	2 回
光ヶ丘地域	12 回	6 回	8 回



豊四季台地域	4 回	0 回	0 回
富 勢 地 域	3 回	1 回	0 回
田 中 地 域	—	0 回	1 回
南 部 地 域	—	—	1 回
計	32 回	25 回	15 回

#### (6) その他の取り組み

コロナ禍の緊急事態宣言中の取り組みとして、お元気コール新規利用者は訪問をせず申し込みができるような工夫、またボランティアの方々にはお休みしていただき職員から連絡するような対策を行いました。また、お元気コール利用者の少ないエリアを対象として新たに周知ポスターを作成、近隣施設や関係機関の協力を得て、ポスター掲示や配布による事業の周知に取り組みました。

## 8

### 障害者の就労支援

自 主

総 務 課

障害者の就労支援を推進するため、L I T A L I C O（りたりこ）ワークス柏と連携し、職場体験や実習の受入れを実施しました。

項 目	H30	R1	R2
日 数	14 日	11 日	7 日
実 人 数	20 名	15 名	13 名
延 人 数	25 名	19 名	23 名
職場体験・実習内容			
各種情報誌・通知文等の封入			

## IX 権利擁護・地域包括支援センター

### 1 成年後見事業

自主・市補助

相談支援課

高齢者や障害者等の意思能力・生活状況に応じて、成年後見制度の相談、普及啓発などを実施しました。

#### (1) 相談件数

項 目	H30	R1	R2
相談件数	244 件	242 件	239 件

#### (2) 成年後見無料相談会

リーガルサポート千葉柏支部との協働により開催しました。

日時／場所	R3. 2. 13／介護予防センターいきいきプラザ
参 加 者	8 組 10 名

#### (3) 普及啓発

##### ① 出前講座

項 目	H30	R1	R2
件 数 等	3 件 62 名 [内訳] 福祉団体 3 件	8 件 177 名 [内訳] 福祉団体 7 件 その他 1 件	2 件 20 名 [内訳] 福祉団体 2 件

##### ② 成年後見制度の基礎研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

##### ③ 成年後見制度及びかしわ福祉権利擁護センターパンフレットの配布

相談者や出前講座での説明や各種研修会等で普及啓発として配布しました。

#### (4) 法人後見業務

##### ① 受任調整会議

項 目	H30	R1	R2
開催回数	4 回	6 回	5 回
審査件数	7 件	8 件	7 件

##### ② 後見人受任件数

項 目	H30	R1	R2
受任件数	16 件 [内訳] 高齢者 15 件 障害者 1 件	20 件 [内訳] 高齢者 19 件 障害者 1 件	14 件 [内訳] 高齢者 13 件 障害者 1 件

新規件数	8 件	7 件	5 件
終了件数	6 件	3 件	11 件

※終了件数は、被後見人の死亡又は後見人辞任（市民後見人へ引き継ぎ）によるもの

## (5) 後見支援員に対する取り組み

### ① 後見支援員活動（本会が行う後見業務での活動）

後見支援員（第1～3期市民後見人養成講座修了生）29名のうち21名が法人後見業務の事務執行者として、延べ76回の被後見人居所訪問や各種手続き等の後見業務を実施しました。また、終活応援ルーム「望」の窓口相談員として18名が延べ32回、活動しました。

※終活応援ルーム「望」の取り組みについては、67頁(10)にて記載。

### ② 後見支援員登録者研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## (6) 後見監督人業務

### ① 監督件数

項 目	H30	R1	R2
受任件数	4 件 [内訳] 法人から 3 件 市長申立 1 件	6 件 [内訳] 法人から 4 件 市長申立 2 件	6 件 [内訳] 法人から 3 件 市長申立 3 件
新規件数	3 件	3 件	4 件
終了件数	0 件	1 件	4 件

※内訳の「法人から」は、本会が法人後見人を辞任した後に市民後見人へ引き継いだもの

### ② 定期面接実施回数（市民後見人定期報告）

延71回 [毎月1回実施]

## (7) かしわ福祉権利擁護センター運営委員会

期 日	内 容
R2. 7. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画・組織体制について</li> <li>▶ 新型コロナウイルス対応について</li> <li>▶ 中核機関を見据えた、かしわ福祉権利擁護センターのあり方について</li> <li>▶ 災害時対応マニュアルについて</li> </ul>
10. 13	[権利擁護部会] <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 令和2年度上半期事業報告について</li> <li>▶ 中核機関設置に関する進捗状況について</li> <li>▶ 市民後見人養成研修について</li> <li>▶ 特例貸付事業について</li> </ul>
10. 16	[総合相談支援部会] ※委員の欠席により、当日中止とし、電話での意見聴取としました。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 令和 2 年度上半期事業報告について</li> <li>▶ 中核機関設置に関する進捗状況について</li> <li>▶ 市民後見人養成研修について</li> <li>▶ 特例貸付事業について</li> </ul>
R3. 2. 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 中核機関における柏市社協の体制、事業内容について</li> <li>▶ 新型コロナウイルスにより生活困窮になった世帯への貸付対応について</li> <li>▶ 福祉サービス利用援助現地調査報告について</li> <li>▶ 令和 3 年度事業計画について</li> <li>▶ 第 4 期市民後見人養成研修について</li> </ul>

## (8) 関係機関との連絡調整

柏市福祉関係課会議等参加、県内権利擁護関係者会議参加、県外権利擁護関係者との意見交換の実施、リーガルサポート相談体制等を実施しました。

## (9) 意思決定支援事業「わたしの望みノート」

### ① 「わたしの望みノート」本編及び体験版の配布

「わたしの望みノート」本編（改訂版）に加え、普及啓発や本編導入を目的とした体験版を配布しました。[本編 2,000 部増刷]

### ② 出前講座

ふれあいサロン等を対象に、「わたしの望みノート」の記入体験を通し、ノート活用のポイントや介護・医療・相続等について考える出前講座を実施しました。  
[実施回数 11 回、参加者延べ 153 名]

### ③ 研修会

市民や高齢・障害分野の福祉専門職を対象に研修会を実施しました。

期 日	内 容	参加者
R2. 8. 24	遺言・相続と「わたしの望みノート」について（専門職向け）	12 名

## (10) 終活応援ルーム「望」の開設

令和 2 年 8 月より、成年後見制度及びわたしの望みノートの普及啓発と利用促進を目的に、終活応援ルーム「望」（毎月第 1・第 2・第 3 木曜日）を南部地域いきいきセンターで開設しました。

項 目	H30	R1	R2
開催回数	—	—	16 回
相談件数	—	—	2 件

## (11) 中核機関の設置に向けた柏市との会議

令和 2 年 5 月から令和 3 年 3 月までの全 11 回、柏市地域包括支援課、障害福祉課と中核機関の設置に向けた会議を実施しました。

会議では、主に中核機関の具体的機能（①広報・啓発機能、②相談機能、③成

年後見制度利用促進機能、④後見人支援機能)、協議会運営、専門機関等の連携等について協議しました。

## 2 柏市市民後見人推進事業

市委託

相談支援課

### (1) 市民後見人候補者名簿登録者へのフォローアップ研修の実施

市民後見人候補者名簿登録者（第1～3期市民後見人養成講座修了生）を対象に、必要な知識等の学習機会及び交流の場の提供を目的に実施しました。

[市民後見人候補者名簿登録者数：28名]

期 日	内 容
R2. 9. 7	市民後見人活動報告 市民後見人受任から活動までの流れについて
12. 4	コミュニケーションにおいて配慮が必要な高齢者に寄り添う傾聴技法について

※近況報告（活動報告、意見交換など）を実施

### (2) 第4期市民後見人養成研修の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### (3) 市民対象の普及啓発研修の開催

一般市民を対象に、成年後見制度や関連制度及び市民後見人活動の普及啓発を目的とする研修会を開催しました。

期 日	内 容	参加者
R2. 10. 9	元気なうちから備えよう！任意後見制度のすすめ	9名
R3. 3. 4	成年後見制度と後見人活動の実際について	18名

## 3 福祉サービス利用援助事業

県社協委託・市補助

相談支援課

判断能力が十分でないために適切なサービスの提供を受けられない方に対し、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、財産管理、財産保全サービスを実施しました。

### (1) 相談件数

項 目	H30	R1	R2
合計相談件数	176件	173件	156件
[相談者] 本人	9件	3件	8件
家族親類	11件	7件	6件

※ケアマネ等	156 件	163 件	142 件
[対象者] 高 齢 者	133 件	114 件	102 件
知的障害者	5 件	6 件	6 件
精神障害者	26 件	28 件	34 件
そ の 他	12 件	25 件	14 件

※ケアマネ等は、介護支援専門員、地域包括支援センター、行政等専門機関を示す

## (2) 訪問調査件数

件 数 等	H30	R1	R2
実 件 数	177 件	151 件	119 件
延訪問調査回数	250 回	189 回	160 回

## (3) 契約件数及び支援回数

件 数	H30	R1	R2
年度末契約件数	123 件	112 件	110 件
内新規契約件数	33 件	18 件	25 件
年度内解約件数	26 件	29 件	27 件

※契約件数 110 件 [内 生活保護受給世帯 79 件]

※解約理由 27 件 [内 死亡 12 件、後見人等就任 8 件、本人意思 2 件、家族管理 2 件、施設管理 1 件、転居 2 件]

※支援回数 1,134 件 [内 専門員 644 件、生活支援員 490 件]

## (4) 生活支援員研修会

生活支援員の資質向上を目的に企画しましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

期 日	内 容	参加者
R2. 8. 28 (中止)	①以前に提出されたアンケートをもとに、普段の支援の中で感じている業務上の疑問を解決する ②支援に関する書類の書き方 生活支援員同士のフリースーク	—
R3. 3. 5 (中止)	同上	—

## (5) 千葉県運営適正化委員会による福祉サービス利用援助事業現地調査

社会福祉法第 8 4 条及び千葉県運営適正化委員会が定める「福祉サービス利用援助事業に関する運営監視事業実施要綱」に基づき、令和 2 年 1 0 月 1 4 日に現地調査が実施されました。調査結果は、すべて適正であると評価を受けました。

沼南圏域を担当し、高齢者の総合相談・権利擁護、介護予防プラン作成、地域の介護予防活動支援、介護支援専門員の支援を実施しました。また、認知症の方や介護者への支援として認知症カフェの設置や家族会への支援、地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークづくり等を行いました。

### (1) 普及啓発

地区社協、民生委員児童委員、サロンなどの集まり、地域包括支援センターの普及啓発を実施しました。

### (2) 総合相談

令和2年6月1日、高齢者のためのより身近な相談窓口として「高柳相談窓口」をヤオコー柏高柳駅前店の3階に開設し、総合相談機能の充実を図りました。

#### ① 沼南地域包括支援センター（沼南社会福祉センター内）

項 目	H30	R1	R2
介護予防等の相談支援、 一般介護予防事業、フレイル予防など	153 件 [内新規 21 件]	15 件 [内新規 13 件]	6 件 [内新規 6 件]
介護予防ケアマネジメント、 総 合 事 業	562 件 [内新規 55 件]	312 件 [内新規 270 件]	86 件 [内新規 86 件]
権利擁護[虐待・成年後見等]	46 件 [内新規 11 件]	75 件 [内新規 57 件]	43 件 [内新規 43 件]
包括的・継続的ケアマネジメント	194 件 [内新規 81 件]	126 件 [内新規 107 件]	69 件 [内新規 69 件]
認 知 症 に 関 す る 相 談	129 件 [内新規 38 件]	110 件 [内新規 88 件]	76 件 [内新規 76 件]
介護保険、福祉制度・サービス	1,814 件 [内新規 419 件]	976 件 [内新規 725 件]	445 件 [内新規 433 件]
在宅医療・介護連携推進 [新 規]	—	34 件 [内新規 33 件]	20 件 [内新規 20 件]
生 活 体 制 整 備 [新 規]	—	28 件 [内新規 28 件]	13 件 [内新規 13 件]
そ の 他	808 件 [内新規 107 件]	322 件 [内新規 230 件]	183 件 [内新規 179 件]
介護者の離職防止に関する相談 [新 規]	—	—	2 件 [内新規 2 件]
計	3,706 件 [内新規 732 件]	1,998 件 [内新規 1,551 件]	943 件 [内新規 927 件]

※令和元年度より、集計方法を変更

#### ② 沼南地域包括支援センター高柳相談窓口（ヤオコー柏高柳駅前店3階）

項 目	H30	R1	R2
介護予防等の相談支援、 一般介護予防事業、フレイル予防など	—	—	8 件 [内新規 8 件]

介護予防ケアマネジメント、 総 合 事 業	—	—	35 件 [内新規 35 件]
権利擁護[虐待・成年後見等]	—	—	14 件 [内新規 14 件]
包括的・継続的ケアマネジメント	—	—	6 件 [内新規 6 件]
認 知 症 に 関 す る 相 談	—	—	66 件 [内新規 64 件]
介護保険、福祉制度・サービス	—	—	267 件 [内新規 248 件]
在 宅 医 療 ・ 介 護 連 携 推 進 [新 規]	—	—	5 件 [内新規 4 件]
生 活 体 制 整 備 [新 規]	—	—	5 件 [内新規 5 件]
そ の 他	—	—	99 件 [内新規 96 件]
介護者の離職防止に関する相談 [新 規]	—	—	0 件 [内新規 0 件]
計	—	—	505 件 [内新規 480 件]

### (3) 権利擁護業務

成年後見制度、消費者被害及び高齢者虐待に関する相談へ対応しました。また、権利擁護の普及啓発のため、市民に向け講座を開催しました。

項 目	H30	R1	R2
高 齢 者 虐 待 へ の 対 応	4 件	3 件	7 件
措置による老人福祉施設入所調整	1 件	1 件	1 件
成年後見制度市長申立相談支援	3 件	3 件	0 件
計	8 件	7 件	8 件

### (4) 地域ケア会議

沼南圏域の関係機関を招集し、地域包括ケアシステム構築に向け、個別ケースの検討や生活課題の解決、地域の現状把握等を検討しました。

項 目	H30	R1	R2
開 催 数	4 回	4 回	4 回
主な内容			
R2. 10. 9	[テーマ] 家族での多問題を抱えるケースの支援について		
11. 6	[テーマ] 精神疾患があり、少ない収入の中での生活支援について		
R3. 2. 24	[テーマ] 多問題で家族の協力がいないケースの支援について		
3. 30	[テーマ] 身寄りのない本人を尊重しながらの地域支援について		



#### (5) 沼南地域ケア推進会議（旧沼南地域包括ネットワーク会議）

沼南圏域の関係機関を招集し、地域ケア会議を通して見えてきた地域課題を報告し、地域課題の解決のために関係機関が包括と連携してできること、施策として提案すべきことを検討しました。 ※仕様書による回数及び名称変更

項 目	H30	R1	R2
開 催 数	2 回	未開催	1 回
主な内容			
R3. 3. 29	[テーマ] 沼南地域におけるオーラルフレイル予防の推進について		

#### (6) 包括ケア地区別研修

介護支援専門員を中心に支援方法や社会資源に関する学習・研修を実施しました。

項 目	H30	R1	R2
開 催 数	3 回	6 回	2 回
主な内容			
R2. 9. 25	[テーマ] コロナ禍におけるケアマネジメントと地域の対応について		
R3. 2. 14	[テーマ] 口腔・栄養・リハビリの専門職との連携を活かした自立支援について		

#### (7) 事例検討会

介護支援専門員を中心に事例を振り返り実践力の強化を行いました。

項 目	H30	R1	R2
開 催 数	1 回	1 回	1 回
延参加者数	23 名	13 名	20 名
主な内容			
R3. 2. 10	[テーマ] 事例を通じて口腔ケアを確認していこう		

#### (8) 介護予防普及啓発事業

市民へ介護予防の必要性について理解が得られるよう講座等を実施しました。

項 目	H30	R1	R2
開 催 数	16 回	9 回	3 回
延参加者数	377 名	164 名	34 名
主な内容			
沼南わくわく Fine 講座（フレイルチェック・オーラルフレイル・フレイル予防）について			

#### (9) 介護予防等における地域活動組織への支援、出前講座

項 目	H30	R 1	R2
実 施 回 数	51 回	100 回	15 回
延参加者数	1, 237 名	2, 675 名	180 名

## 主な内容

運動機能向上、季節の健康教育、成年後見制度について、消費者被害の注意喚起、口腔の健康について等

### (10) 認知症に関する相談

認知症相談会の開催と「認知症家族の会～沼南ひまわりの会」の相談支援を行いました。

項 目	H30	R1	R2
実施回数	24 回	11 回	6 回
参加人数	88 名	85 名	43 名

### (11) 認知症カフェ

認知症カフェは、認知症の人とその家族が気軽に立ち寄れ、地域の人たちとのつながりを作るきっかけができる場所として開催しています。

項 目	H30	R1	R2
実施回数	30 回	26 回	7 回
参加人数	224 名	192 名	34 名

※ ひまわりカフェ（沼南センター内）、手賀オレンジカフェへの支援（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を縮小し、飲食なしで行いました。）

### (12) オレンジフレンズ交流会

オレンジフレンズ（認知症サポーター講座を受講後、協力者として登録してくれた方）に向け、活動の主旨の理解と活動へとつながるよう情報提供を行いました。

項 目	H30	R1	R2
実施回数	1 回	1 回	1 回
参加人数	26 名	26 名	27 名

### (13) 介護支援専門員と地域活動ボランティアの交流会

項 目	H30	R1	R2
介護支援専門員	—	※1	※2
地域福祉活動者	—	※1	※2

※1 令和元年度は、風早北部地区による「支えあい会議」により開催

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い未開催

### (14) 認知症サポーター養成講座

認知症の正しい理解のための普及啓発活動を行いました。

項 目	H30	R1	R2
実 施 回 数	24 回	27 回	19 回
延参加者数	614 名	720 名	465 名

※沼南高柳高校、沼南高校、高柳西小学校、町会、社会福祉士実習生、柏市社協で実施

### (15) 徘徊模擬訓練

市民、関係者に対して認知症の理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう実施しました。

項 目	H30	R1	R2
実 施 回 数	1 回	1 回	未実施
延参加者数	36 名	40 名	0 名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## (16) 指定介護予防支援事業

要支援 1. 2、事業対象者のケアプラン作成を行いました。

件 数	H30	R1	R2
要支援ケアプラン作成請求件数 (介護予防ケアマネジメント含む)	767 件 [内新規 26 件]	888 件 [内新規 30 件]	1,271 件 [内新規 35 件]
要支援ケアプラン作成委託件数 (介護予防ケアマネジメント含む)	2,706 件 [内新規 103件]	2,922 件 [内新規 74件]	2,749 件 [内新規 77 件]

※地域の居宅支援事業所減少のため、積極的にケアプランを受け持ちました。

## (17) 「お元気応援マップ」の改訂

地区ごとの介護予防に関する新たな情報を収集し、「お元気応援マップ」を改訂しました。

また、地域の高齢者や福祉活動希望者が身近な場所で介護予防の活動に取り組めるよう、窓口での配布や、サロンや利用者宅への訪問時の情報提供資料として活用しました。なお、地区社協、民生委員、介護支援専門員にも随時配布し、広く周知しました。

## X 施設管理

### 1 沼南社会福祉センター設置経営事業

自主・市補助

総務課

こどもから高齢者、ボランティア等が利用する沼南社会福祉センターの管理運営を行いました。施設経年による修繕として照明のLED化を徐々に進めています。

また、主に2階はぐはぐひろばから火災・地震等の災害時避難経路複数化のため、避難階段設置及び避難経路の整備を行いました。

#### (1) 利用状況

レクリエーション室・調理実習室・研修室・会議室の貸出(有料)を行いました。

項 目	H30	R1	R2
レクリエーション室	156 件 1,713 名	185 件 1,968 名	96 件 778 名
調 理 実 習 室	66 件 1,100 名	60 件 905 名	3 件 25 名
臨時ボランティア活動室	— 件 — 名	106 件 1,181 名	65 件 431 名
ボランティア活動室	315 件 3,153 名	313 件 2,846 名	215 件 1,483 名
会 議 室	440 件 6,032 名	404 件 5,195 名	290 件 2,560 名
録音室(視聴覚室)	129 件 353 名	107 件 319 名	82 件 158 名
計	1,106 件 12,351 名	1,175 件 12,414 名	751 件 5,435 名

#### (2) 照明のLEDへの改修

3階会議室3室・トイレ等(廊下部以外)の照明78台を改修しました。

(3階はLED化改修完了)

### 2 介護予防センターいきいきプラザ管理運営事業

市委託

総務課

介護予防センターいきいきプラザの管理運営を行いました。

項 目	H30	R1	R2
研 修 室	6,688 名	8,200 名	3,954 名
会 議 室	1,628 名	2,320 名	1,985 名
デイサービス室	1,648 名	—	4 名
計	9,964 名	10,520 名	5,943 名

3施設の管理・経営を受託。経営方針として、健康づくりと介護予防の支援、いきがいと仲間づくりの支援、高齢者の主体的な活動の支援を掲げ、事業を展開しました。

### (1) 指定管理期間

項 目	期 間
柏 寿 荘	R 3. 4. 1 ～ R 5. 3. 31
中央老人福祉センター	H30. 4. 1 ～ H31. 3. 31
南部老人福祉センター	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31
沼南老人福祉センター	R 3. 4. 1 ～ R 8. 3. 31

### (2) 利用状況

項 目	H30	R1	R2
柏 寿 荘	31,117 名	24,773 名	7,116 名
中央老人福祉センター	22,785 名	—	—
南部老人福祉センター	63,794 名	57,742 名	12,082 名
沼南老人福祉センター	39,945 名	37,307 名	6,887 名
計	157,641 名	119,822 名	26,085 名

### (3) 介護予防・世代間交流事業

項 目	H30	R1	R2
柏 寿 荘	22 事業 7,784 名	20 事業 5,702 名	10 事業 1,478 名
中央老人福祉センター	12 事業 1,288 名	—	—
南部老人福祉センター	20 事業 6,826 名	25 事業 7,409 名	9 事業 1,258 名
沼南老人福祉センター	29 事業 5,355 名	23 事業 5,082 名	10 事業 612 名
計	83 事業 21,253 名	68 事業 18,193 名	29 事業 3,348 名

#### 主な講座内容

[柏 寿 荘] フレイルチェック※、てんとう虫テスト※、フレイル予防体操講座※、包括支援センターとは？※、歌謡曲で体操しよう、スマイル講座、健康に関する講座※、ラジオ体操、自彊術、避難・消化訓練、防犯・交通安全教室、認知症になりたくない・認知症を考える※、手工芸※、編み物教室※、陶芸講座入門※、こども陶芸教室※、健康相談、栄養相談、うめぼし体操、看護学生実習受入、柏寿荘まつり※

[南部老人] フレイルチェック※、てんとう虫テスト※、ロコモ講座※、ロコモ講座(リハビリ)※、歌謡曲で体操、簡単ストレッチ講座※、賢

い病院のかかり方※、お年寄りとお話※、高齢者の権利擁護、伊勢物語講座、悪徳商法(電話詐欺)※、折り紙でクリスマス、陶芸入門講座※、手話講座※、地域を知る講座※、歌声広場※、紙きず絵手紙※、子供陶芸講座※、藤心小児童交流会※、健康相談、栄養相談、うめぼし体操、看護学生実習受入、防災訓練、ふれあいまつり※

[沼南老人] フレイルチェック、てんとう虫テスト※、ラジオ体操、うで自慢・のど自慢※、やさしいヨガ教室※、みんなで盆踊り※、青春のうた声喫茶※、社交ダンス教室※、交通安全教室、医療講座※、防災訓練、消費生活講座※、七宝焼教室※、編み物教室、新春将棋大会※、新春囲碁大会※、健康相談、栄養相談、うめぼし体操、詐欺被害防止DVD上映、いこい荘まつり※、看護学生実習受入

※年度当初予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### (4) 相談事業

高齢者の健康増進のため、健康相談を月2回、栄養相談を月1回実施しました。

項 目 施 設	健康相談			栄養相談		
	H30	R1	R2	H30	R1	R2
柏 寿 荘	368 名	251 名	109 名	109 名	99 名	50 名
中央老人福祉センター	216 名	—	—	80 名	—	—
南部老人福祉センター	398 名	284 名	140 名	143 名	133 名	75 名
沼南老人福祉センター	301 名	260 名	105 名	71 名	134 名	72 名
計	1,283 名	795 名	354 名	403 名	366 名	197 名

## [ 参考 ] 役員（理事・監事）・評議員・組織図

<b>1</b>	<b>役員（理事・監事）名簿</b>	R3. 3.31 現在
----------	--------------------	-------------

### ▶ 理事

選出区分	氏 名	所属等
民生委員・児童委員	山 名 恵 子	柏市民生委員児童委員協議会会長
健康づくり推進員	平 野 準 子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会会長
社会福祉施設及び福祉団体	平 山 隆	社会福祉法人彩会理事長
	鈴 木 美岐子	社会福祉法人千草会理事長
	吉 野 一 實	柏市老人福祉施設連絡協議会会長
	安 井 通 雄	柏市非営利団体連絡会副代表
地区社会福祉協議会	手 塚 建 二	富勢地区社会福祉協議会会長
地域組織	長 瀬 慈 村	一般社団法人柏市医師会会長
	金 子 秀 雄	柏市商店会連合会会長
	根 本 利 治	柏市ふるさと協議会連合会会長
行政関係	高 橋 裕 之	柏市保健福祉部部長
学識経験者及び福祉活動経験者	吉 江 悟	一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事
	大 野 正 英	麗澤大学教授
	望 田 八重子	柏市ひとり親(母子、父子、寡婦)福祉会顧問
	中 川 博	光ヶ丘地区社会福祉協議会前会長
	秋 山 享 克	柏市社会福祉協議会常務理事
社会貢献活動企業	中 嶋 敏 彰	株式会社千葉銀行柏支店支店長

[会長・副会長・常務理事]

役 職	氏 名	当該役職の在任期間
会長	中 川 博	R 1. 6.24～
副会長	鈴 木 美岐子	H25. 7. 4～
副会長	吉 野 一 實	R 1. 6.24～
常務理事	秋 山 享 克	H28. 4. 1～

### ▶ 監事

氏 名	現 職
佐 藤 勝 美	社会福祉法人沼風会業務執行理事
長谷川 秀 夫	司法書士

※役員（理事・監事）任期：令和元年6月21日から令和3年度定時評議員会終結時まで

※所属等は就任時のものを記載

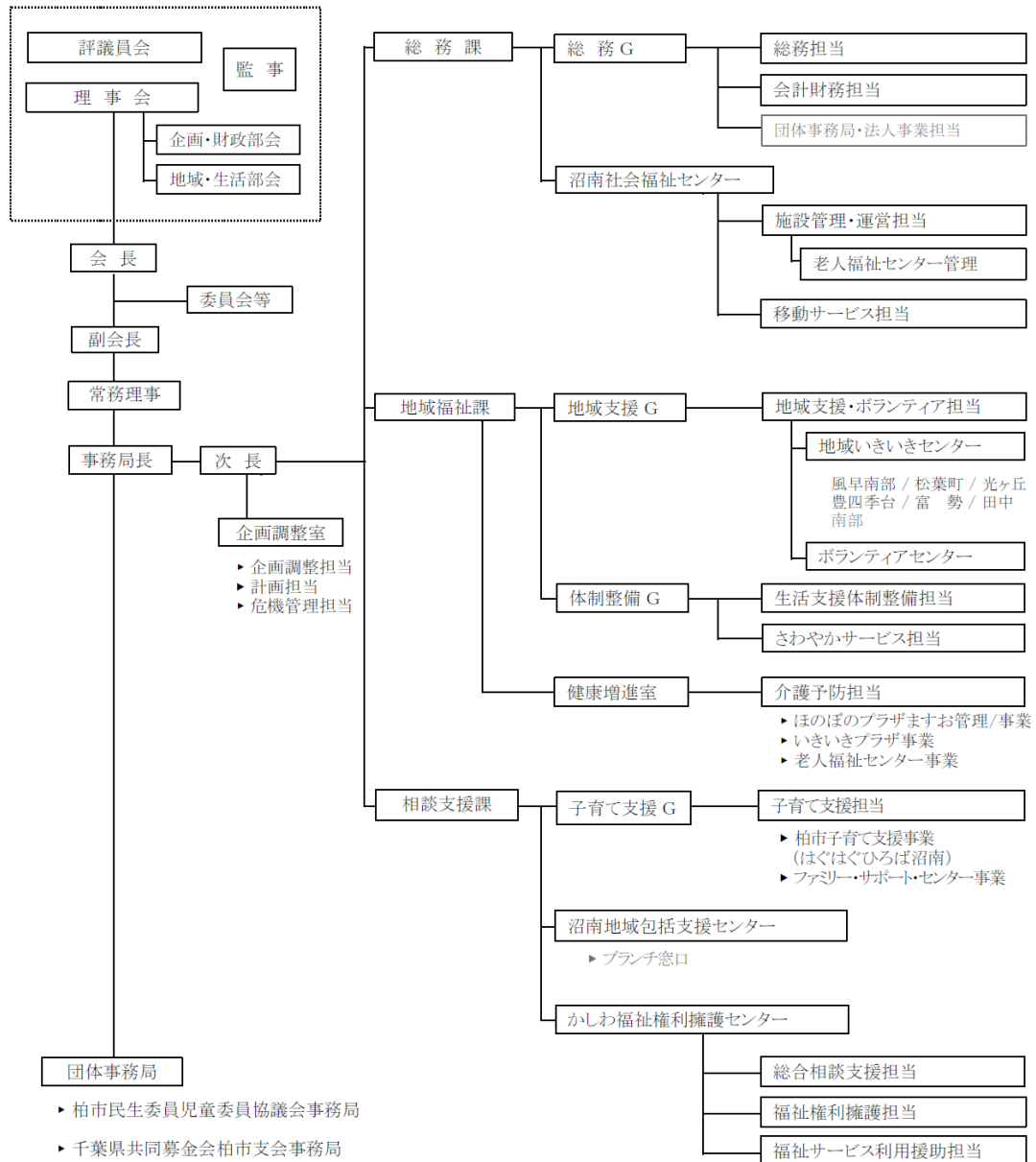
選出区分	氏 名	所属等
民生委員・児童委員	大久保 千鶴子	柏市民生委員児童委員協議会副会長
	小 林 新 子	柏市民生委員児童委員協議会副会長
	星 合 行 雄	柏市民生委員児童委員協議会前副会長
健康づくり推進員	村 上 広 子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会副会長
	野 呂 直 子	柏市民健康づくり推進員連絡協議会副会長
社会福祉施設及び福祉団体	畑 野 文 男	柏市老人クラブ連合会前会長
	横 尾 好 永	柏市介護サービス事業者協議会会長
	齋 川 英 文	北柏地域包括支援センターセンター長
	中 野 し の ぶ	柏市手をつなぐ育成会会長
	溜 川 良 次	柏市私立幼稚園協会新制度特別委員長
	石 塚 康 子	柏市赤十字奉仕団書記
地区社会福祉協議会	鶴 崎 光 次	富里地区社会福祉協議会会長
	須 藤 由紀江	豊四季台地区社会福祉協議会
	秋 元 康 雄	松葉町地域ふるさと協議会会長
	廣 田 与 三	西原地区社会福祉協議会福祉企画部部长
	青 柳 直 樹	増尾地域ふるさと協議会会長代行
	宮 里 幸 子	光ヶ丘地区社会福祉協議会南光ヶ丘地区社協部部长
	大 野 治 郎	手賀地区社会福祉協議会会長
地域組織	佐 藤 健一郎	柏商工会議所事務局長
	川 上 よう子	柏市沼南商工会副会長
	武 井 丈	公益社団法人柏青年会議所理事長
	森 秀 樹	柏南ロータリークラブ会長
	山 下 明 子	柏なの花ライオンズクラブ会員
	細 井 毅	一般社団法人柏歯科医師会理事
	島 田 幸 男	一般社団法人柏市薬剤師会理事
	足 達 伸 一	柏市PTA連絡協議会副会長
	大 瀬 宏 美	柏市青少年健全育成推進連絡協議会副会長
	鍛 治 美 樹	柏市子ども会育成連絡協議会理事
	鈴 木 哲	柏市消防団副団長
行政機関	石 田 清	柏市教育委員会生涯学習部教育総務課課長
	高 村 光	柏市地域づくり推進部地域支援課課長
	恒 岡 真由美	柏市こども部子育て支援課課長
	植 田 貴 一	柏警察署生活安全課課長
学識経験者及び福祉活動経験者	三 浦 邦 彦	柏市小中学校校長会 土小学校校長
	中 川 智 陽	(公社)成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部柏地区リーダー
社会貢献活動企業	大久保 貴 将	ITS株式会社取締役社長

※評議員任期：平成29年4月1日から令和3年度定時評議員会終結時まで

※所属等は就任時のものを記載



令和2年度  
社会福祉法人 柏市社会福祉協議会 組織体系図



---

第4期 柏市地域健康福祉活動計画  
社協アクションプラン・発展強化計画進捗状況

---

# I 社協アクションプラン

[年度別評価] 「◎」 大幅に達成／「○」 概ね達成／「△」 取り組んだが達成に至らず／「×」 未実施

## 1 地域・団体支援、ネットワークづくり

## 社協アクションプラン

### (1) 地域いきいきセンターを拠点とした身近な相談支援や地域づくりの推進

地域いきいきセンターでは、地域福祉の支援拠点として、市民の身近な場所での相談支援や複合的な生活課題のコーディネート、支えあいの地域づくりの推進に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地域いきいきセンターにおける包括的な相談支援体制について、関係機関と共に検討を進め、年度内に具体的な方針を固める					◎
2 年目	市内相談関係機関の顔合わせ及び継続したあいネットとの調整会議を実施し、ケース対応の連携強化を行うとともに、包括的な相談支援体制におけるいきいきセンターの役割の具体化を進める					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

#### ① 風早南部地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,350 件			1,425 件		1,475 件
実績値①	1,383 件	906 件				
実績値②	218 件	163 件				
実績値③	821 件	540 件				

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

#### ② 松葉町地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,150 件			1,225 件		1,275 件
実績値①	972 件	984 件				
実績値②	102 件	151 件				
実績値③	557 件	436 件				

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

#### ③ 光ヶ丘地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,200 件			1,275 件		1,325 件
実績値①	1,307 件	820 件				
実績値②	153 件	152 件				
実績値③	696 件	349 件				

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

④ 豊四季台地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	1,400 件			1,475 件		1,525 件
実績値①	1,300 件	1,061 件				
実績値②	141 件	150 件				
実績値③	861 件	605 件				

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑤ 富勢地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	950 件			1,025 件		1,075 件
実績値①	970 件	816 件				
実績値②	92 件	91 件				
実績値③	642 件	495 件				

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑥ 田中地域いきいきセンター

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—			—		—
実績値①	657 件	1,192 件				
実績値②	35 件	83 件				
実績値③	561 件	936 件				

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

⑦ 南部地域いきいきセンター (2020.5 開設)

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	—			—		—
実績値①	—	569 件				
実績値②	—	107 件				
実績値③	—	272 件				

[※①年間利用件数／②相談件数／③地域支援数]

(2) コミュニティソーシャルワーカーとしての地域支援の実施

コミュニティソーシャルワーカーとして、市民とともに個人や地域の生活課題の把握や解決に向けた「我が事」「丸ごと」の地域づくりに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地区担当職員が従事する業務から把握した個別課題を、地域や社会資源と繋げるよう意識付けを行う					△
2 年目	支えあいの取り組みを通じて、個別課題を踏まえた地域づくりを推進する					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

### (3) ふるさと協議会や町会等、地域組織との連携の強化

地域の中心的な組織であるふるさと協議会や町会・自治会・区・管理組合の他、その地域にある多様な社会資源や広域で活動する団体等とも連携を強化し、ともに地域福祉の推進に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,500 回			1,700 回		1,800 回
実績値	1,403 回	944 回				

[※地区担当職員出向回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	地域いきいきセンターの整備及び支えあい会議の取り組みを通じ、地域関係組織との連携強化を図る	○
2 年目	地域支援課と連携し、新たに立ち上がるふる協及びその地域の町会組織との関係を深める	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

### (4) ゆるやかなネットワークの構築

既存の会議等と連携しながら、分野や対象、活動形態等に捉われず、あらゆる視点で、日頃からの情報交換や必要な時の連携、協力ができるゆるやかなネットワークづくりに取り組みます。

#### ① 未就学児を対象とした子育て支援に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			1 回		1 回
実績値	1 回	1 回				

[※情報共有や勉強会、交流の場の回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	11 月頃に拠点で活動している子育て支援団体との第 2 回目の交流会（研修）を実施する	◎
2 年目	今年度も地域の子育て支援団体との交流及び研修会を実施。地域の活動の情報収集及び利用者への情報提供を積極的に行う	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

② 子どもの居場所に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	10 団体			16 団体		20 団体
実績値	14 団体	21 団体				

[※ネットワークに参加する団体数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新規に立ち上がる子ども居場所活動団体に対し、連絡会への参加を呼びかける	◎
	未就学児以上を対象としている子育て支援団体との関係づくりのため、地域のイベント等に積極的に参加する	○
2 年目	こどもの居場所活動の立ち上げを希望する団体に対する提供情報の充実を図る	△
	ひろばに遊びに来た利用者に情報提供するための子育て居場所に関するマップの作成を行い、利用者へ積極的に情報発信できるよう努める	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

③ 若者支援に関するネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			1 回		1 回
実績値	2 回	1 回				

[※連絡会の開催回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新しい参加者を含めた連絡会を開催し、ネットワークづくりを行うとともに、若者支援の取り組みを検討し実施する	○
2 年目	連絡会の構成団体（助成金交付団体）以外にも参加を呼びかけ、情報や課題の共有、新しいネットワークづくりを行い、若者支援の連携強化を図る	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

④ 相談機関等とたすけあい団体のネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	20 団体			40 団体		60 団体
実績値	20 団体	14 団体				

[※情報交換の場に参加する相談機関数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	ケアマネージャーへの周知（団体一覧、たすけあいの理解促進）を行う	○
2 年目	ケアマネージャーへのたすけあい活動手引きの改訂を行う	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

⑤ 分野を超えた社会福祉法人のネットワークづくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			1 回		1 回
実績値	1 回	4 回				

[※連携の場等の開催数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	年に 1 度の合同研修と懇親を実施。その他、法人連携や協働事業を模索するため、若い職員を中心としたネットワークの設置を検討する	○
2 年目	法人の種別バランス（高齢・障害・児童等）を考慮し、10 名程度のコアメンバーによる検討会の立ち上げを進める	◎
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

(5) たすけあいの重層化の推進

地域組織やNPO法人、企業等の様々な日常生活支援活動が共存と協働、連携しあえるしくみづくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			20 回		40 回
実績値	—	打合せ実施				

[※研修・イベント数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	たすけあい団体との連携が有効な専門職や企業の洗い出しを行う	△
2 年目	ネットワーク会議を開催し、多様な団体・企業などと手をつなげる状態を模索する	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

(6) 支えあい団体を利用しやすい環境づくり

さわやかサービスのあり方を見直し、直接サービスを提供する他、たすけあい活動が、より多くの市民に利用されるよう、積極的に情報提供の窓口としての役割を果たします。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,200 件			1,400 件		1,500 件
実績値	4,549 件	4,004 件				

[※相談受付件数] 窓口・電話・訪問等により在宅福祉や介護についての相談を実施。相談の集計方法を改善したことにより、計上される件数が増加。

年度別実施計画		実施評価
初年度	事例を通じたさわやかサービスと町会エリア及びコミュニティエリア、たすけあい団体との連携関係を構築する	○
2 年目	さわやかサービスが持つ機能を地域課題のために有効に機能されるために、相談者やケアマネージャーからのニーズに基づき、支援メニュー・ルールの見直しを検討する	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		



## (1) 多様な居場所づくりの推進

様々な分野とコラボレーションしながら、誰もが集えて、多世代が交流できる住民主体の居場所づくりの推進に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	260 件			275 件		285 件
実績値	281 件	280 件				

[※多様な居場所数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	多様な場所（公共施設・施設・企業・空き家・店舗）を活用した好事例を共有し、周知する					◎
2 年目	居場所に活用できる場の確保と一つの場で世代を超えて多様な活動が展開できる事例づくり、環境づくりを行う					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (2) 支えあい活動の推進

地域支えあい推進員と地区担当職員が、一体的に活動し、たすけあい活動や高齢者（多世代含む）の通いの場等の支えあい活動を推進します。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	全世代型の視点から高齢者が活躍できる場の抽出を行う					◎
2 年目	地域元気情報の幅広い活用方法を検討し周知する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## ① たすけあい活動（町会エリア）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	39 団体			54 団体		58 団体
実績値	32 団体	35 団体				

[※団体数]

## ② たすけあい活動（コミュニティエリア）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	14 団体			18 団体		22 団体
実績値	17 団体	18 団体				

[※団体数]

③ たすけあい活動（複数コミュニティエリア）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	14 団体			19 団体		20 団体
実績値	18 団体	17 団体				

[※団体数]

④ 通いの場（月一型）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	196 団体			244 団体		275 団体
実績値	206 団体	200 団体				

[※団体数]

⑤ 通いの場（週一型）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	15 団体			28 団体		37 団体
実績値	17 団体	17 団体				

[※団体数]

⑥ 通いの場（常設型）

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
目標値	11 団体			13 団体		14 団体
実績値	9 団体	8 団体				

[※団体数]

(3) 見守りのしくみづくりと支援

既存の近隣関係や町会等の防災訓練や要援護者支援のしくみ等を活用、連動した日常的な見守り活動の推進と支援に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			20 件		40 件
実績値	—	—				

[※見守りのしくみと支えあい活動の連携数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	公的な窓口の周知と一体的な見守り普及啓発チラシを配布する					△
2 年目	通いの場、たすけあいから発展した見守りの推進を行う					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

#### (4) 効果的な介護予防活動の創造と普及

関係団体と連携し、健康寿命の延伸に効果的な介護予防事業の創造やその普及に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	220 回			230 回		240 回
実績値	261 回	122 回				

[※介護予防講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	講座を通じて影響のある企画内容や講師の評価、発掘を行うとともに、ほのぼのプラザの貸館業務等を通じ、民間団体が主催する市民向け講座の活用を図る	◎
2 年目	いきいきセンター及び地域包括支援センター及び地域組織との連携による講座展開と、講座に集まらなくても介護予防の知識等が周知されるための紙面講座等の展開を行う	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

#### (5) 新たな福祉課題へのモデル的な活動の実施

新たな福祉課題（現代的な課題等）に対応するため、課題に応じた支援体制（ゆるやかな連携等）やモデル的な活動、しくみづくりに取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
目標値	—			1 件		1 件
実績値	検討	2 件				

[※新たな課題に対する体制や活動数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新たな課題や複合的な課題解決に向けた総合相談やいきいきセンター、地域の連携によるモデル的な活動を検討する	△
2 年目	複合的な課題解決に向けた会議等を年 2 回開催し、課題解決に向けた連携の場づくりを行う	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

#### (6) 空き家の活用等に関する研究

市の空き家対策の状況を踏まえながら、空き家の有効活用やそのしくみづくりについて研究します。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	市住宅政策課の動向を踏まえ、本会としての方向性について検討する	△				
2 年目	市からの利活用物件の情報に対し、地域での活用に向けて体制整備グループとの連携により可能性を探っていく	○				
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (7) 子育て支援拠点の充実

イベントや講座等の充実による居心地の良い居場所づくりや出張相談等の相談業務の実施等、子育て支援拠点の充実に取り組みます。また、災害時にできるはぐはぐ広場での親子への支援等の検討を進めます。

### ① 居心地の良い居場所づくりと相談支援体制の充実

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	利用者のニーズに応え、年齢に応じた遊具等の整備及びファミサポ、拠点、利用者支援事業を併せたパンフレットを作成する					◎
2 年目	前年度の体制を継続。出張相談や育児講座で発信された内容をホームページで発信し、より多くの人に情報提供を行う。また、他機関とのつながりを強化し、個別のケースに対して連携が取れるよう進めていく					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

### ② 災害時の親子（未就学児とその親）への支援

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	2 回			2 回		2 回
実績値	2 回	2 回				

[※利用者を交えた避難訓練実施回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	職員避難訓練を毎月実施、年 2 回利用者を交えた訓練を実施する					◎
	災害時対応を沼南社会福祉センターと子育て支援拠点で検討し、避難訓練を実施する					△
2 年目	災害の際に、常に職員が敏速に動けるよう、定期的な避難訓練を実施。災害用備蓄品の管理及び備蓄場所、使用方法の確認を定期的に行う					○
	子育て支援グループとの避難訓練時に災害時を想定し、受け入れ体制のシミュレーションを実施する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

**(8) 成年後見制度の利用促進**

成年後見制度利用促進法に基づき、柏市や職能団体等と連携し、かしわ福祉権利擁護センターにおける成年後見制度の利用促進に積極的に取り組みます。

また、制度の普及啓発や相談窓口の設置等により、潜在的な対象者の早期発見から支援までのしくみづくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	柏市等と話し合いを持ち、成年後見制度の普及啓発や中核機関の設置等についてしくみや内容等を検討する					◎
2 年目	かしわ福祉権利擁護センターのあり方も踏まえ、引き続き市担当課と話し合いを行い、来年度の実施に向けた準備等を行う					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

**(9) 日常的な活動等に障害者も参加できる環境づくり**

障害者を対象とした活動ではなく、日常的な様々な活動や場面の中に、障害者が自然と活動、参加できる工夫や環境づくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			2 回		2 回
実績値	1 回	0 回				

[※理解促進に関わる取り組み回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	障害者のスポーツ推進の取り組みと連動し、地域行事などに障害者が気軽に参加できるような環境づくりを関係団体と検討する					○
2 年目	市の障害者スポーツの取り組みを通じて、障害者が参加しやすい地域活動のあり方を検討する					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (1) 我が事意識の醸成に向けた福祉教育の推進

我が事意識の醸成を目指し、世代に応じた福祉教育を展開します。また、児童・生徒に対しては、啓発チラシやボランティア体験等、夏休み期間を活用した福祉事業の充実に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	600 人			600 人		600 人
実績値	676 人	132 人				

[※夏ボラの参加者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	「夏ボラのススメ」を発行、学校等に配布・周知のうえ参加を呼び掛ける	○
2 年目	「夏ボラのススメ」を発行し、児童期から福祉へ興味関心や障害理解を深め、地域活動参加への呼びかけを行う	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

## (2) ボランティアコーディネート機能の充実

依頼者と活動者をつなぐコーディネートの効率化と実践を通じた量・質を兼ね備えたコーディネートに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	480 件			480 件		480 件
実績値	446 件	74 件				

[※ボランティアコーディネート件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	通常のコーディネート業務に加え、体験同行や依頼先施設等への訪問を行う	○
2 年目	単発的な依頼と年間を通じた依頼のすみ分けを意識して取り組む。ボランティア支援希望者と活動希望者の円滑な調整及び活動同行や施設等への訪問を適宜行う	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

### (3) 活動の場までつなぐ人材の育成

活動の場へのコーディネートまでを含めた人材育成（講座）・相談支援に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	5 講座			10 講座		10 講座
実績値	5 講座	2 講座				

[※体験等を含む人材育成講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	入門、精神保健ボランティア講座、傾聴講座等を開催し、人材の育成を行う	○
2 年目	例年実施する講座に加え、施設等でニーズの高いボランティアの企画・養成を行う	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

### (4) プロボノの研究

各分野の専門家が、職業上持つ知識やスキル、経験を活かし社会貢献するボランティア活動（＝プロボノ）を研究します。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
目標値	—			100 人		200 人
実績値	—	—				

[※専門技術を活かしたボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	個人登録ボランティアの持つ専門技術の情報整理を行う	○
2 年目	昨年実施した調査データをもとに活用方法を検討する	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

## (5) ニーズに応じた人材の育成と確保、活動支援

福祉教育や支援の担い手等、ニーズに応じた人材育成や活動者、担い手の確保、活動支援に取り組みます。また、ボランティアセンターの個人ボランティア登録者に対し、定期的な情報提供を行う等、活動の活性化に取り組みます。

### ① 福祉教育ボランティアの育成と活動支援

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	30 人			30 人		30 人
実績値	41 人	41 人				

[※福祉教育ボランティア登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	福祉教育ボランティア交流会を実施し、福祉体験講座の講師依頼時に活動できるよう調整を行う	○
2 年目	福祉教育ボランティア養成講座を実施し、人材の拡充を行う	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

### ② 災害時に動けるボランティアの育成と確保

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	72 人			77 人		87 人
実績値	79 人	86 人				

[※災害ボランティアコーディネーター登録者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、コーディネーターを養成、修了者による自主勉強会の支援を行う	○
2 年目	養成講座の企画・開催及び防災・災害ボランティア団体との連携・交流、その他、修了者による被災地支援の検討等を行う	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

### ③ 生活支援員の育成と確保

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	45 人			55 人		65 人
実績値	43 人	38 人				

[※生活支援員数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	新たな生活支援員獲得に向けた対策を検討、退任民生委員向けに説明会を開催し、新しい生活支援員を確保する	△
2 年目	他部署との連携による人材発掘や市民後見人養成研修受講生を生活支援員につなげる等、新たな人材の確保を行う	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		



④ 市民後見人の養成・育成と活動支援

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	25 人	31 人		41 人		51 人
実績値	23 人	23 人				

[※市民後見人候補者数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	養成研修中は、定期研修や利用者訪問等を行い、修了後はフォローアップ研修や情報交換を行い育成する					◎
2 年目	第 4 期市民後見人養成研修（座学、実習等）を実施、新たな市民後見人の養成を行う					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

⑤ 後見支援員の活動の場の提供と拡充

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	15 人			30 人		40 人
実績値	14 人	25 人				

[※後見支援員延活動者数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	法人後見の継続により、後見支援員活動の場を確保するとともに、普及啓発活動等への協力を促し、活動の場の提供と拡大を図る					○
2 年目	後見支援員の新たな活動の場として、南部地域いきいきセンターを活用した意思決定支援（望みノート）や成年後見の普及啓発活動を行う					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

⑥ さわやかサービス協力会員の確保

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	170 人			230 人		250 人
実績値	149 人	168 人				

[※さわやかサービス協力会員数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	既にルートのあるシニアへの募集に加え、長期的な人材確保のため子育て世代への募集ルートを開拓する					◎
2 年目	社協のサービスを跨いだ学びの機会の提供により、地域共生社会における多様な参加支援を進め、さわやかサービス協力会員を確保する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

⑦ 柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）の養成

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	310 人			430 人		510 人
実績値	323 人	333 人				

[※かじサポ登録者数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	研修の参加者増加に向け、募集ルートの開拓、資格取得をし、就労していない方への調査、フォローアップ講座を行う					◎
2 年目	生涯現役促進協議会との連携により募集ルートの確保を行う					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

⑧ ファミリー・サポート・センター協力会員・両方会員の確保

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	400 人	430 人	460 人	490 人		550 人
実績値	370 人	416 人				

[※ファミサポ協力会員・両方会員数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	地区ごとの利用状況や協力会員の状況等を踏まえ、地区担当者や地区リーダー協力のもと、効果的な人材確保に取り組む（地域での説明会の実施）					○
2 年目	基礎研修が受けやすい体制を構築する。また、必要とされた地域に出向いての個別説明と事業説明を積極的に行い、協力会員獲得のためのチラシやポスターを各所に配布。社協のホームページで情報も発信していく。					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

⑨ 個人登録ボランティア登録者の増加

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1,000 人			1,120 人		1,200 人
実績値	1,094 人	931 人				

[※個人ボランティア登録者数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	「通年ボラ∞」を発行・配布し周知を図る					○
2 年目	「通年ボラ∞」の発行及び配布。QRコード登録によるお知らせメール機能のPRを行う					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

**(6) モデル活動の実施と「地域づくり」との連動**

地域いきいきセンター等で実施したモデル的な成功事例を、ボランティアセンターや地区担当職員等と連動して、地域全体への拡大に向けて取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 事例			1 事例		1 事例
実績値	1 事例 (支えあいイベント)	1 事例 (教育福祉会館事業)				

[※モデル的な取り組み事例数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	試行的、先行的に実施する人材育成や地域活動について、他の地域での適用を検討し中央から地域、地域から地域へ広げる仕組みをつくる	△
2 年目	新教育福祉会館の方針を踏まえ、開館に向けて多目的スペースでの事業展開や講座等の企画案を作成しておく。(コロナ禍により試行が困難なため)	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

**(7) 介護予防を通じた地域活動の支援**

ほのぼのプラザでの介護予防のノウハウを生かし、地区担当職員と連携し、地域に出向き、地域のつながりやサロン活動の充実に役立つ出前講座や人材育成等に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	120 回			140 回		160 回
実績値	105 回	15 回				

[※フレイル予防・健康づくり出前講座数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	健康づくり出前講座、人材育成講座、介護予防グッズ等を通じて、地域住民の主体的な介護予防活動を支援する	○
2 年目	健康づくり出前講座、人材育成講座、介護予防グッズ等を通じて、地域住民の主体的な介護予防活動を支援する	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

## (1) 総合相談（貸付等）を窓口とした生活課題へのアプローチ

総合相談（貸付等）をきっかけに、相談者が抱える複合的な福祉課題の整理や制度・専門機関等へのつながり等、課題解決に向けた支援に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	80 件			120 件		130 件
実績値	209 件	2,072 件				

[※課題を整理し支援機関や制度につないだ件数]

※コロナ特例貸付で状況確認シートを使用して、あいネットと連携、情報共有した件数も含む

年度別実施計画		実施評価
初年度	複合的な生活課題を抱えた相談者の課題を整理し、解決に向けた助言や必要な機関等へのつながりを行う	◎
2 年目	複合的な課題を抱える相談者の課題の整理や助言、必要機関へのつながり等を行い、相談者の課題解決を図る	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

## (2) 相談の集約と分析による新たな福祉課題への対応

社協の各相談窓口に寄せられた相談や生活課題を集約・分析し、新たな福祉課題等の整理や解決、対応等に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	社協内での相談データの集計方法の見直しを行い、相談データから総合相談が必要なデータを抽出して課題を整理する					△
2 年目	各担当間の相談データの集計や分析を行い、福祉課題の傾向や取り組むべき課題の整理を行う					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

### (3) 複合的な福祉課題解決への連携と支援

相談支援機関等が複合的な福祉課題の解決に取り組む際、総合相談や地域いきいきセンター等がその特徴やノウハウを活かし、分野を越えた横断的な支援体制の構築や課題解決への支援に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			9 回		11 回
実績値	—	2 回				

[※分野を超えた検討の場の実施回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	柏市やあいネット等の関係機関と協議を行い、計画に掲げる包括的な相談支援体制の構築に向けた検討を行う	○
2 年目	複合的な課題解決に向けた会議等を年 2 回開催し、課題解決に向けた連携の場づくりを行う	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

### (4) 福祉サービス利用援助事業の速やかな利用に向けた体制づくり

速やかな訪問調査や契約判断を行える体制づくりを進め、支援が必要な利用者の速やかな制度利用に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	生活支援員向けの研修会を開催し、質の向上を図るとともに、退任民生委員向け説明会を実施し、新たな生活支援員の確保を行う	△				
2 年目	利用者数の増加に対応するため、生活支援員の確保や研修等を行い、人材確保と質の向上を図る	△				
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

### (5) 権利擁護の切れ目のない支援

元気なうちから亡くなるまでを意識した継続的な支援体制の構築を目指し、任意後見や死後事務等に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	任意後見、死後事務、財産管理等委任契約を総合的に支援できる相談支援体制の構築に向けた支援を行う	◎				
2 年目	福祉サービス利用援助事業の利用者から法人後見への移行や任意後見、死後事務等のモデル的な取り組みを継続しながら、切れ目のない支援体制の充実を図る	○				
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (6) 介護予防事業の効果的な実施

市全域を意識し、市民に身近な会場（公共施設等）で介護予防事業（出張講座等）を実施します。また、ほのぼのプラザと老人福祉センターの連携を強化し、老人福祉センターにおける介護予防の充実や情報提供に取り組みます。

### ① 介護予防センターにおける効果的な介護予防の実施

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	50 回			60 回		70 回
実績値	68 回	52 回				

[※公共施設等を利用した講座開催回数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	柏の葉公園センター、モラージュ柏、クリーンセンター、地域医療連携センター等の地域性を意識した講座企画を増やす	○
2 年目	柏の葉公園センター、モラージュ柏、クリーンセンター、地域医療連携センター等を活用し、地域に根ざした講座展開を進める	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

### ② 老人福祉センターにおける効果的な介護予防の実施

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	500 人			800 人		1,000 人
実績値	514 人	60 人				

[※老人福祉センター事業の内、主たる目的が介護予防の講座の参加者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	ほのぼのプラザとの連携を強化し、介護予防機能を有した事業展開をする	○
2 年目	参加者の増加を目的とし、ほのぼのプラザと連携を強化し魅力ある講座を実施する	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

## (7) 新たな子ども・子育て支援（預かり事業）の実施

一時預かり事業（ぞうさんルーム）の拡充や、保護者の緊急時に子どもを預かる体制づくりに取り組みます。

### ① 一時預かり事業（ぞうさんルーム）の拡充

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	190 人			210 人		210 人
実績値	185 人	98 人				

※コロナ禍で受入人数を半分体制（4-5 月は中止）

[※ぞうさんルーム利用者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	利用者からのニーズに応え、10 月から月 1 回ぞうさんルーム実施日の拡大を図る	○
2 年目	令和 3 年 10 月より第 3 火曜日を実施予定のため、一人に対する月の利用制限を設ける等、多くの方に利用してもらうよう利用状況の見直しを図る	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

### ② 保護者の緊急時の子どもの預かりの体制づくり

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	市との定期的な話し合いを行い、場所や人材確保を含め検討する					△
2 年目	社協としての緊急の預かりを再確認したうえで、実施できることを想定した受け入れ体制の構築及びマニュアル作りを考えていく					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (8) 移動困難者への支援

高齢者や障害者等の移動困難者に対し、通院や社会参加（サロン参加等）等の日常生活における移動支援に取り組みます。福祉有償運送の安定的な実施（こらくだくん）に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	6,500 件			6,800 件		7,000 回
実績値	5,681 件	4,506 件				

[※年間利用総件数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	職員の資質向上に向けた研修会を実施する	○
2 年目	利用者に対し均一したサービス提供ができるように、特例等の見直しを含め内規等の見直しを図る	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

**(9) 地域組織との連携による地域包括ケアシステムのモデル展開と普及**

沼南圏域から地域組織や地元住民等の協力と連携のある個別ケアの支援体制（地域包括ケアシステム）のモデル的な展開と普及に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 ヶ所			2 ヶ所		3 ヶ所
実績値	1 ヶ所	1 ヶ所				

[※個別ケア支援体制の普及数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	団地で地域組織と連携して徘徊模擬訓練・サポーター講座などを行い、戸建て地域と比較した住まい方の違いによる効果的な認知症の方の見守り体制づくりを検討する	△
2 年目	団地や学校・商店会などの地域の中で、認知症の方への声かけと見守り体制について、有事の際（新型コロナや災害等）の多対応も合わせ、地域組織や事業者と連携し検討する	△
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		



## (1) 地域共生社会の普及啓発

市民一人ひとりがあらゆる生活課題に取り組む「我が事」の意識等「地域共生社会」の考え方や活動について、その普及啓発に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	第 4 期活動計画の P R を含め、本会 H P により地域共生社会の考え方等について啓発を行う					◎
2 年目	行政との連携会議の充実と地域での支えあい活動を活かした地域共生社会の意識の醸成を進めていく					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (2) 福祉課題の社会化（見える化）

社協に寄せられた相談内容の分析結果や福祉課題等を市民や関係機関等に発信し、地域で起きている福祉課題の社会化（見える化）に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			1 回		1 回
実績値	1 回	3 回				

[※見える化して発信した回数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	相談データ等を整理・分析し、福祉課題や傾向等の見える化を行うとともに、各種会議や H P 等を活用し、福祉課題の傾向等の情報共有を行う					△
2 年目	貸付利用者の状況や心配ごと相談の相談内容等のデータを整理し、課題や傾向を分析する。また、分析結果を会議等で情報提供・共有する					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

### (3) 全世代を対象とした意思決定支援の普及啓発と実施

子どもから高齢者、障害の有無を問わず活用できる「わたしの望みノート」を目指します。また、介護や医療、死後等に関し、本人が意思を伝えられない時に伝える手段として意思決定支援の必要性の普及啓発と作成機会の提供に取り組みます。

#### ① 「わたしの望みノート」の改訂

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	記入した人やケアマネージャー等の支援者から活用状況について意見を聞き、市・医師会が作成した資料や厚労省の動向等を踏まえて、「わたしの望みノート」改訂に向けて情報収集する					○
2 年目	「わたしの望みノート」を記入・活用した市民のモニタリング結果を踏まえ、より良い「わたしの望みノート」への改訂に向けた準備を行う					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

#### ② 全世代に対する意思決定支援に関する普及啓発

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	—			200 人		250 人
実績値	—	155 人				

[※普及啓発した人数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	現在の「わたしの望みノート」をもとに、親を介護している世代や学生等も意思決定の必要性や重要性について考えられる普及啓発の仕方や内容を検討する					△
2 年目	南部いきいきセンターで行う事業を通して、幅広い人たちへの意思決定支援の普及啓発を行う					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

### (4) 障害者のスポーツを通じた理解促進

障害者のスポーツとの連携等、新たに福祉以外の切り口から障害理解の促進に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	1 回			2 回		2 回
実績値	1 回	0 回				

[※スポーツを切り口とした理解促進の取り組み数]

年度別実施計画						実施評価
初年度	市スポーツ課との連携により、障害者スポーツの支援ボランティアの育成とともに、理解者を増やしていく					○
2 年目	市スポーツ課による障害者スポーツ推進連絡会に引き続き参画し、スポーツを通じた障害理解や人材育成を推進する					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

(5) 寄附文化の醸成

様々な寄附や活動助成等の方法について、広く市民に普及啓発を行い、寄附文化の醸成や新たな活動助成金の獲得方法等の普及啓発に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	多様な寄附方法やファンディング等の情報を収集し整理する					△
2 年目	遺贈を含めた金銭及び物品寄附の仕組みづくりについて検討していく					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## Ⅱ 社協発展・強化計画

[年度別評価] 「◎」大幅に達成／「○」概ね達成／「△」取り組んだが達成に至らず／「×」未実施

### 1 拠点戦略

### 社協発展・強化計画

#### (1) 新たな地域いきいきセンターの設置

市と協議の上、市民の身近な相談窓口や地域活動支援、ネットワークづくり等の拠点となる地域いきいきセンターの計画的な設置に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	6 ヶ所			9 ヶ所		11 ヶ所
実績値	6 ヶ所	7 ヶ所				

[※地域いきいきセンター設置数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	市と調整を行い、補助金（人件費、事業費）要求等を行っていく	○
	計画の設置目標を前倒しし、関係機関と調整のもと整備する	○
2 年目	設置計画に基づき、次期開設に向けた調整を地域支援グループとともに進め、人員配置と補助金要求の調整を行っていく	◎
	令和 3 年度 8 か所目の新規開設に向けて、関係機関及び地域との調整を図る	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

#### (2) 災害時、はぐはぐひろば沼南利用者への一時避難体制の整備

はぐはぐひろば沼南開設時に災害が起きた際、帰宅に不安を感じる利用者等を沼南社会福祉センターで一時的避難するための体制整備に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	沼南社会福祉センターと子育て支援グループの合同避難訓練を実施する					△
	避難所としての体制整備等の検討を行う					△
2 年目	センター内のそれぞれの担当グループの体制を整え、シミュレーションを交えた避難訓練及び一時避難場所として想定した訓練を、センター全体で年 1 回行っていく					○
	災害時マニュアル等とあわせて、避難所として必要な新たな資機材の調査、検討を行う					○
	子育て支援グループの避難訓練と併せ、一時避難場所を想定したシミュレーションを実施する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

### (3) 沼南社会福祉センターの維持管理及び機能の充実

沼南社会福祉センターの修繕計画等に基づく計画的な維持管理の徹底と、市民が利用しやすいセンターを目指し、センター機能の充実に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
目標値	13,000 人			14,500 人		15,500 人
実績値	12,414 人	5,435 人				

[※来館者数]

年度別実施計画		実施評価
初年度	利用者のニーズに応え、貸館の管理機能の充実を図る（調理室の整備）	○
	修繕費に関する負担の整理・調整を行い、財政に係る基本方針における修繕積立計画の見直しを行う	○
2 年目	規定に沿った貸館業務を実施するために、利用団体の利用料等の見直しを図る、また、LED化を計画どおり実施する（3 階）	◎
	財政に係る基本方針の見直しと修繕等保全計画に基づく工事を実施、来年度計画の実施に向けた補助金調整を行っていく	○
3 年目		
4 年目		
5 年目		
最終年度		

### (4) 沼南社会福祉センターの全世代型施設への強化

子育て支援拠点や移動サービス、地域包括支援センター、ボランティア活動室等、あらゆる市民を対象とした施設である沼南社会福祉センターを、全世代型の施設として、その機能強化に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画		実施評価				
初年度	子育て世代から高齢者まで多様な世代の方からの相談等が受けられる相談窓口の連携を強化する					○
	全世代型の施設を意識した連携事業を行う					△
	各担当と連携し、試行的実施に向け定期的に検討の場を設置する					△
2 年目	定期的な会議の場を設け、計画的な事業展開を図る					○
	センター全体での会議の実施、各担当グループができることを出しあい、センター全体で取り組めるイベント等を模索及び計画を立てていく					△
	令和 2 年度の早い時期に、沼南社会福祉センターと子育て支援グループと、お互いの特性を活かした効果的な取り組みについて検討する					○
	令和 2 年度の試行的実施に向けて、各担当による検討・調整の場を設定する					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

**(5) 事務所機能のあり方の検討と事務所施設の確保**

ボランティアセンター設置場所や事業規模の拡大、職員数の増加等を踏まえ、機能的な事務所機能のあり方の検討と事務所施設の確保に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	官民協働検討委員会の動向を踏まえ、地域福祉課と連携しボランティアセンターのあり方等を検討する					△
2 年目	市の包括的相談支援体制の方向性に基づき、新たな教育福祉会館における本会の役割を明確化し、令和 3 年度に向け組織改編を検討する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (1) 人事採用計画に基づく職員定数の適正化と計画的な職員採用【採用】

事業規模や業務量、職員の年齢構成等を踏まえ、人事採用計画の見直しを図るとともに、計画的な人事採用により、職員の適正定数確保に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	地域包括支援センターにランチや利用促進基本計画における中核機関の動向により、人事採用計画の見直しを行う					○
2 年目	将来的な事業展開を踏まえ、地域いきいきセンターや相談支援体制の強化・安定化を柱とした適正な人員配置を検討し、定年補充等を含めた採用計画の見直しを行う					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (2) 体系的な人材育成による職員の専門性の向上と資質の確保【育成】

人材育成・研修体系基本方針に基づき、OJT（職務内）、OFF-JT（職務外）、SDS（自己啓発援助制度）の視点から人材育成を行い、職員の専門性の向上と職務職階に必要な資質の確保に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	階層別研修の見直しとOJTのあり方、指導担当職員の配置等について検討する					◎
2 年目	人材育成基本方針に基づき、特に法人会計や労務管理等に関する外部研修への参加・資格取得を強化する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (3) 明確な評価制度と処遇等への適正な反映【評価と処遇、配置】

明確な人事考課制度と基準に基づく評価、評価結果の処遇への適正な反映等により、適正な人事管理や配置、職員の就業意欲の向上に取り組めます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	現在の人事考課制度と処遇を検証し、その方策を検討する					△
2 年目	実施計画等の連動による目標設定と人事評価を検討する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

**(4) 障害者雇用の推進【採用】**

障害者がその能力を発揮できる職場環境の整備と職員の意識改革を図る等、障害者雇用の推進に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	障害者雇用に係る関係機関（団体）と調整し、受入体制を整えたうえで、基準以上にするための採用準備を行う					△
2 年目	関係機関と連携し、障害者雇用のための情報収集と雇用に向けた検討を行う					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

**(5) 働きやすい職場環境の整備による長期雇用の実現【処遇】**

働きやすい職場環境や福利厚生等の充実を図り、職員の長期雇用を実現し、安定した組織運営や福祉サービスの提供、地域福祉活動の支援に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	働き方改革に向けた本会方針を策定するとともに、衛生委員会への諮問や近年の離職率を算出する					△
2 年目	働きやすい職場についてのアンケートを実施する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						



## (1) 役員・評議員の機能強化

定数や選出区分の見直し等を行い、理事会や評議員会の活性化と環境整備を図り、執行・議決機関としての機能強化に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	任期満了に伴う改選（令和 3 年度）に向けた定数及び執行・議決機関の意義を再確認するとともに、理事部会・理事会で意見聴取し、方針案を策定する					△
2 年目	令和元年度に調査した他市状況結果をさらに精査したうえで、任期満了に伴う改選（令和 3 年度）に向けて方針案を提案する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (2) 市社協の認知度向上と理解者の拡大

既存の P R 媒体の定期的な見直しや新たな広報媒体の活用、対象を意識した普及啓発活動等により、市社協の認知度向上や理解者の拡大に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	オンライン及びオフライン媒体を有機的に活用した P R を行う					○
2 年目	社協事業の啓発を行うための啓発物を制作する					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (3) 災害時の体制整備

災害時、利用者の安否確認や災害ボランティアセンター設置等を速やかに行えるように職員参集や設置訓練等を実施し、災害時の体制整備に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	本部マニュアルの再確認及び担当部署の対策（マニュアル等の有無）を集約し、総括的な対策について検討する					△
	沼南社会福祉センターの防災計画の見直しを行い、避難訓練を実施する					△
2 年目	災害対策会議の検討内容にあわせてマニュアル改訂を行う					△
	避難経路の確保と整備として、はぐはぐひろばからの外階段の設置や外経路の整備を実施する。また、それに併せ新たな避難経路のマニュアルを作成する					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

#### (4) 社会福祉法人との連携強化

協議体や中間組織としての機能を活かし、社会福祉法人等とのネットワーク形成や連携を図りながら機能的な法人運営や効果的な事業展開に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	年に 1 度の合同研修と懇親を実施。その他、法人連携や協働事業を模索するため若い職員を中心としたネットワークの設置を検討する					○
2 年目	法人の種別バランス（高齢・障害・児童等）を考慮し、10 名程度のコアメンバーによる検討会の立ち上げを進める					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

#### (5) 機能的な事務局組織体制の構築

組織と事業規模が拡大する中で、スピード感のある意思決定や組織運営が行える機能的な事務局組織体制の構築に取り組みます。また今後、A I（人工知能）等の新たな技術を活用した事務の効率化等の検討も行います。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	実施	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	組織体制の現状を再整理・再検討する。また、スピーディな事務処理、決裁手段ができる環境を模索する					△
2 年目	専決・決裁区分の見直しを行う					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

#### (6) 市との連携強化

事業担当者間の課題解決や懸案事項の調整、合意形成等を目的とした会議等を開催し、市との連携強化に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	社会福祉課との連絡調整会議や地域共生社会の実現に向けた連携会議により、包括的な相談支援体制の構築に向け調整を図っていく					○
2 年目	福祉政策課との連絡調整会議、地域共生社会の実現に向けた連携会議において、特に包括的な相談支援体制の構築について本会の意向等を発信していく					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

**(7) 個人情報保護や財務会計のチェック体制の強化**

個人情報の保護や財務会計のチェック体制の強化等、法人としてのコンプライアンスやガバナンスの強化に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	現状の個人情報のリスト化、会計チェックの再検証を行い、内部牽制の再構築を図る					○
2 年目	個人情報の取り扱いに関する知識向上と意識の醸成を図ったうえでチェック体制のあり方について検討する					◎
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

## (1) 会員会費制度の見直しと会員確保

会費の安定財源化を目指し、会員会費制度の見直しとPRの強化、使途の明確化（充当先の整理）等を図り、会員確保と会費拡充に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	財源確保・社協認知度のための会員制度の啓発方法を検討する					○
2年目	会員向けに昨年度発行した社協カレンダーの評価アンケートを行い、その結果をもとに今後について検討する。また、3-(2)と一体的な運営を行う					○
3年目						
4年目						
5年目						
最終年度						

## (2) 寄附文化の醸成と寄附者の拡大

市民が寄附したいと思える寄附制度の構築と市民一人ひとりに届くPRや寄附者への実績報告等により、寄附文化の醸成と寄附者の拡大に取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	寄附者への実績報告を行い、寄附の継続を推進するとともに、募金箱設置増などの新たな寄附（募金）の啓発等、可能性を検討する					△
2年目	寄附者以外に対し寄附金の使われ方を周知する方法を検討する					△
3年目						
4年目						
5年目						
最終年度						

## (3) 物品寄附の有効活用に向けたしくみづくり

受領した物品を市内の社会福祉法人等で有効活用してもらえるネットワークの構築やしくみづくりに取り組みます。

実施年度	初年度 (2019)	2年目 (2020)	3年目 (2021)	4年目 (2022)	5年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	物品寄附による必要な施設（団体）への情報提供方法を検討する					△
2年目	物品寄附の有効活用に向け、新たな情報提供方法を検討する					△
3年目						
4年目						
5年目						
最終年度						

#### (4) 新たな財源獲得に向けた収益事業の検討

自主財源の更なる獲得に向け、新たな収益事業の実施に向けて取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	新規取り組みを含め、収益事業の方策を再検討する					△
2 年目	収益事業の自動販売機設置経営事業を評価し、今後の方策を検討する					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

#### (5) 共同募金の効果的・機能的な配分

共同募金配分委員会での活発な議論を通じ、共同募金財源の地域活動への効果的・機能的な配分に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	共同募金配分委員会を通じた適正な配分方法を検討する					△
2 年目	教育福祉会館耐震工事後の団体支援の方針を踏まえた助成金の見直しを検討する					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

#### (6) 適正な予算編成と配分

財政に係る基本方針に基づき、各事業の経費に対して最も適した収入財源を充当する等、収入と支出の関係性を踏まえ、市民や市から理解を得られる適正な予算編成と配分に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	自主財源の充当先を再検討し、特に新たな事業に対する財源確保を検討する					○
2 年目	特に基金を財源とした事業展開とその他財源（会費・寄附・共募等）における事業の整理を担当課とともに検討していく					△
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

**(7) コスト意識の徹底と財源の有効活用**

限られた財源を有効に活用し、法人運営や各事業を効果的、安定的に実施するために、職員にコスト意識を徹底させ、無駄のない財源活用に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	コスト削減、財源の有効化を図るためのリスト化等の整備を検討する					△
2 年目	各部署におけるコスト削減の目標設定を促す。OA機器に関する知識や技術の向上によるコスト削減につながる研修会等を企画調整室と検討する					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						

**(8) 遺贈による寄附のしくみづくり**

遺言等による遺贈への気持ちにこたえるべく、遺贈による寄附受付のしくみづくりや新たな民間財源として有効活用できる方法の確立に取り組みます。						
実施年度	初年度 (2019)	2 年目 (2020)	3 年目 (2021)	4 年目 (2022)	5 年目 (2023)	最終年度 (2024)
	検討	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
年度別実施計画						実施評価
初年度	遺贈の受付についてマニュアル化し、使途を検討する					△
2 年目	遺贈寄附について権利擁護センターと連携して情報を収集し、遺贈寄附のあり方について検討する					○
3 年目						
4 年目						
5 年目						
最終年度						



---

社会福祉法人柏市社会福祉協議会  
令和2年度事業報告書

柏市柏五丁目1番8号  
電話 04-7163-9000

---